

平成29年 10月入学

平成30年 4月入学

大学院創成科学研究科

博士前期課程

学生募集要項

山 口 大 学

目 次

山口大学大学院研究科のアドミッション・ポリシー	1
創成科学研究科 博士前期課程のアドミッション・ポリシー	1
Ⅰ. 入学者選抜の概要	5
Ⅱ. 専攻別募集人員	7
●推薦入試による選抜 [理学系]	
Ⅰ. 出願資格	9
Ⅱ. 出願手続等	9
Ⅲ. 選抜方法等	11
Ⅳ. 合格発表	11
●口述試験による選抜 [工学系]	
Ⅰ. 出願資格	12
Ⅱ. 出願資格事前審査	12
Ⅲ. 出願手続等	13
Ⅳ. 選抜方法等	15
Ⅴ. 合格発表	15
●一般選抜 [理学系・工学系・農学系]	
Ⅰ. 出願資格	16
Ⅱ. 出願手続等	16
Ⅲ. 選抜方法等	19
Ⅳ. 合格発表	24
●社会人特別選抜 [理学系・工学系]	
Ⅰ. 出願資格	25
Ⅱ. 出願手続等	25
Ⅲ. 選抜方法等	27
Ⅳ. 合格発表	29
●共通事項	
Ⅰ. 入学手続	30
Ⅱ. 障害等のある入学志願者の事前相談	31
Ⅲ. 出願資格事前審査申請について	31
Ⅳ. 大学院設置基準第 14 条に定める教育方法の特例について	34
山口大学大学院創成科学研究科博士前期課程案内	35

山口大学大学院研究科のアドミッション・ポリシー

山口大学は「発見し・はぐくみ・かたちにする 知の広場」を理念に、地域の基幹総合大学及び世界に開かれた教育研究機関として、たゆまぬ研究及び社会活動並びにそれらの成果に立脚した教育を実践し、地域に生き、世界に羽ばたく人材の育成に努めます。

そのために、次のような学生の入学を求めています。

●求める学生像

- 高度な理論的・実践的研究に意欲をもつ人
- 研究成果を実践の場で応用・展開できる人
- 豊かな人間性と高度な倫理性、社会性を備えた人

創成科学研究科 博士前期課程におけるアドミッション・ポリシー

基盤科学系専攻

「求める学生像」

本専攻は、数理科学、物理学、あるいは情報科学の専門的な教育を通して、社会の要請に対応し得る能力を備えた人材を養成することを目的としています。このため、本専攻の各コースでは以下に述べるような学生を求めています。

数理科学コース

- 1 数理科学分野において大学卒業と同等の学力を有し、さらなる高度な専門知識の修得に強い意欲を持つ人
- 2 論理的思考能力や数理表現能力に優れている人
- 3 数理科学分野での研究を通し培った素養を生かして社会で活躍したい人

物理学コース

- 1 物理学に対する探求心を持ち、関連する分野で活躍することを目指す人
- 2 忍耐強く研究を続け、論理的に思考することの好きな人
- 3 物理学の知識を活用して新しい研究に挑戦したい人

情報科学コース

- 1 情報科学やその周辺分野に対する探究心を持ち、これらの分野で活躍することを目指す人
- 2 忍耐強く研究を続け、論理的に思考することの好きな人
- 3 情報科学の知識を活用して新しい研究に挑戦したい人

地球圏生命物質科学系専攻

「求める学生像」

本専攻は、生物学、化学、あるいは地球科学に関する系統的並びに実践的な教育を通して、社会の要請に対応し得る能力を備えた人材を養成することを目的としています。このため、本専攻の各コースでは以下に述べるような学生を求めています。

生物学コース

- 1 生物科学とその関連分野において、社会の多方面で活躍と貢献ができる技術者、研究者を目指す人
- 2 生物科学分野への強い興味を持ち論理的思考力を備え、忍耐強く研究に取り組める人
- 3 学部において修得した基礎知識をもとに、生物科学分野において、自ら積極的に課題を探索し、意欲的に研究に取り組める人

化学コース

- 1 化学の基礎を身につけており、将来は化学の専門家として活躍することを目指す人

地球科学コース

- 1 学部において修得した基礎知識をもとに、地球科学とその関連分野において、自ら積極的に課題を探索し、実践的に取り組む意欲のある人
- 2 資源・材料・環境・防災・建設など、地球科学の幅広い分野の技術者として国内外で活躍することを目指す人

機械工学系専攻

「求める学生像」

本専攻は、機械工学分野での専門的素養を基とする機械エネルギー、システム工学及び設計生産工学をカバーする機械工学の学問体系の習得により、機械工学の高度な専門知識を医療支援システム、環境・エネルギーシステム、航空宇宙システム、知能機械システムなどの研究・開発に応用展開できる能力を有し、課題発見、課題解決能力、さらにコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を兼ね備えた高度専門職業人を育成することを目的としています。このため、本専攻の各コースでは以下に述べるような学生を求めています。

応用医工学コース

- 1 機械分野における高度専門技術者として将来国際社会ならびに地域社会に貢献する意欲を有する人
- 2 機械工学に関する基礎学力と幅広い教養を持ち、さらに高度な機械工学を総合的に学び続ける意欲を有する人
- 3 医療支援システムに関する専門的知識と応用能力を身に付け、自主的に研究に取り組む意欲を有する人
- 4 生命科学や医療福祉の分野において、世界の科学・技術をリードし、国際的に活躍する技術者、研究者を目指して、将来、大学院博士後期課程に進学する意欲を有する人

航空宇宙エネルギーコース

- 1 機械分野における高度専門技術者として将来国際社会ならびに地域社会に貢献する意欲を有する人
- 2 機械工学に関する基礎学力と幅広い教養を持ち、さらに高度な機械工学を総合的に学び続ける意欲を有する人
- 3 環境・エネルギーシステム、航空宇宙システムに関する専門的知識と応用能力を身に付け、自主的に研究に取り組む意欲を有する人
- 4 環境・エネルギーシステム、航空宇宙システムの分野において、世界の科学・技術をリードし、国際的に活躍する技術者、研究者を目指して、将来、大学院博士後期課程に進学する意欲を有する人

メカノシステムデザインコース

- 1 機械分野における高度専門技術者として将来国際社会ならびに地域社会に貢献する意欲を有する人
- 2 機械工学に関する基礎学力と幅広い教養を持ち、さらに高度な機械工学を総合的に学び続ける意欲を有する人
- 3 知能機械システムに関する専門的知識とデザイン能力を身に付け、自主的に研究に取り組む意欲を有する人
- 4 知能機械システム分野において、世界の科学・技術をリードし、国際的に活躍する技術者、研究者を目指して、将来、大学院博士後期課程に進学する意欲を有する人

建設環境系専攻

「求める学生像」

本専攻は、建設工学、環境工学及び建築学の専門的素養を基にし、社会建設工学、国際建設技術、環境システム工学及び建築学に関する幅広い専門的知識を有し、課題発見、課題解決能力、さらにコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を兼ね備えた高度専門職業人を育成することを目的としています。このため、本専攻の各コースでは以下に述べるような学生を求めています。

社会建設工学コース

- 1 成熟する地域社会の社会基盤整備に貢献できる技術者・研究者を目指す人
- 2 建設や環境分野に関する基礎学力と応用力を備えた人
- 3 課題発見や問題解決に必要な工学的センスや自主性をもつ人
- 4 建設や環境分野の技術者の社会的責任を意識できる人

国際建設技術コース

- 1 国際的な開発事業や技術協力案件に対応できる技術者・研究者を目指す人
- 2 建設や環境分野に関する基礎学力と応用力を備えた人
- 3 課題発見や問題解決に必要な工学的センスや自主性をもつ人
- 4 建設や環境分野の技術者の社会的責任を意識できる人

環境システム工学コース

- 1 環境システム工学を通して持続可能な社会の構築に貢献する意欲と資質を持つ人
- 2 環境システム工学分野の高度な専門教育科目群を履修し習得するために、学士課程で養われた数学、物理学、化学、生物学等の基礎知識を有し、環境システム工学に関する勉学意欲を有している人
- 3 環境システム工学系の技術者・研究者に求められる社会的責任に関する意識を持ち、グローバルな環境問題に取り組む意欲のある人

建築学コース

- 1 建築学（建築構造系、建築環境系、建築計画系）に関する専門知識を有し、創造的な研究活動を展開できる人
- 2 建築学分野の専門技術の習得に強い意欲と熱意を有する人
- 3 建築学の理論の探化と実践を大切に、社会貢献できる能力を有する人
- 4 国際的視野から建築学の役割を認識し、問題解決に向け自主的に取り組める人

化学系専攻

「求める学生像」

本専攻は、数学・化学・物理学・生物学の素養を基にし、物質化学、生命化学、環境化学・化学工学に関する幅広い専門的知識に基づく創造的で幅広い視野を有し、課題発見、課題解決能力、さらにコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を兼ね備えた高度専門職業人を育成することを目的としています。このため、本専攻の各コースでは以下に述べるような学生を求めています。

物質化学コース

- 1 環境、エネルギー、ナノテク・材料、ITを支える物質化学の分野において興味を持ち、チャレンジ精神や好奇心の旺盛な人
- 2 上記の分野において豊かな人間性と倫理性を備えた社会の多方面で活躍と貢献が出来る高級技術者または研究者を目指す人
- 3 研究意欲と創造性を備え、研究計画に基づいて自立的に研究を遂行していく人
- 4 研究について多くの人と積極的に討論し、また研究成果を世の中に分かり易く発信する意欲のある人

生命化学コース

- 1 化学、生命科学、生物学などの分野において基盤的な知識を修得し、将来は有用分子の研究開発、製薬・バイオ関連産業分野で活躍を目指す人
- 2 微生物及び動植物などの代謝や分子機能を中心に基盤的な知識を修得し、将来は製薬・バイオ関連産業分野で活躍を目指す人
- 3 人体の機能と統御及び医療技術の基礎を修得し、将来は最先端の分子生命科学を医療分野で応用することをを目指す人

環境化学・化学工学コース

- 1 環境化学と化学工学を通して持続可能な社会の構築に貢献する意欲と資質を持つ人
- 2 環境分野の高度な専門教育科目群を履修し習得するために、学士課程で養われた数学、物理学、化学、生物学等の基礎知識を有し、環境科学と環境工学に関する勉学意欲を有している人
- 3 環境系の科学者・技術者の社会的責任に関する意識を持ちグローバルな環境問題に取り組む意欲のある人

電気電子情報系専攻

「求める学生像」

本専攻は、学士課程で培った電気・電子工学あるいは情報科学・工学の専門的素養をもとに、これらの分野の急速な発展に柔軟に対応できる創造性豊かな、幅広い専門知識を有し、課題発見能力や問題解決能力に加え、コミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を兼ね備えたグローバルに活躍できる高度専門技術者を養成することを目的としています。このため、本専攻の各コースでは、以下に述べるような学生を求めています。

電子デバイス工学コース

- 1 電気・電子工学および関連分野に関する基礎的な学力を有し、専門分野の高度な知識や技術を学ぼうとする強い意欲を持つ人
- 2 電子デバイス工学分野（半導体、磁性体、メタマテリアル、プラズマ、超伝導）に関心を持ち、探究心や独創性を持って積極的に研究や開発に取り組む意欲のある人
- 3 自主性と協調性を備え、学んだ専門知識や技術を活かして地域ならびに国際社会に貢献する志を持つ人

電子システム工学コース

- 1 電気・電子工学および関連分野に関する基礎的な学力を有し、専門分野の高度な知識や技術を学ぼうとする強い意欲を持つ人
- 2 電子システム工学分野（電磁波システム、システム計測、システム制御、パワーエレクトロニクス）に関心を持ち、探究心や独創性を持って積極的に研究や開発に取り組む意欲のある人
- 3 自主性と協調性を備え、学んだ専門知識や技術を活かして地域ならびに国際社会に貢献する志を持つ人

知能情報メディア工学コース

- 1 情報工学および関連分野に関する基礎的な学力を有し、専門分野の高度な知識や技術を学ぼうとする強い意欲を持つ人
- 2 知能化技術やメディア処理技術に関心を持ち、探究心や独創性を持って積極的に研究や開発に取り組む意欲のある人
- 3 自主性と協調性を備え、学んだ専門知識や技術を活かして地域ならびに国際社会に貢献する志を持つ人

情報システム工学コース

- 1 情報工学および関連分野に関する基礎的な学力を有し、専門分野の高度な知識や技術を学ぼうとする強い意欲を持つ人
- 2 情報通信技術や情報システム構築技術に関心を持ち、高度な情報化社会の実現に向けて、情熱と意欲を持って研究や開発に取り組む意欲のある人
- 3 自主性と協調性を備え、学んだ専門知識や技術を活かして地域ならびに国際社会に貢献する志を持つ人

農学系専攻

「求める学生像」

農学コース

- 1 生物、環境、生命に関する総合的かつ専門的基礎知識を持っている人
- 2 高度な科学的視点から生物生産、環境の管理と多様性維持、生物資源の探索と活用を探求したい人
- 3 農学コースで必要とされる基礎知識と学力を有する人

生命科学コース

- 1 生物、環境、生命に関する総合的かつ専門的基礎知識を持っている人
- 2 高度な科学的視点から生物機能の開発と応用、食品と健康の化学、環境修復を探求したい人
- 3 生命科学コースで必要とされる基礎知識と学力を有する人

I 入学者選抜の概要

1. 選抜方法

推薦入試による選抜、口述試験による選抜、一般選抜及び社会人特別選抜があります。

学系・専攻・コースによって選抜方法が異なりますので、志望する学系・専攻・コースの選抜方法を必ず確認してください。

2. 選抜試験の実施時期

A. 推薦試験による選抜 [理学系]

平成 29 年 7 月上旬に実施します。受験にあたっては、推薦書の提出が必要となりますので、注意してください。対象となる専攻・コースは次のとおりです。

基盤科学系専攻：物理学コース・情報科学コース

地球圏生命物質科学系専攻：地球科学コース

B. 口述試験による選抜 [工学系]

平成 29 年 8 月上旬に実施します。出願期間の前に、出願資格事前審査を行います。

C. 一般選抜及び社会人特別選抜 [理学系・工学系・農学系]

学系(理学系・工学系・農学系)によって、実施時期は異なります(3. 入試スケジュール参照)。

また、実施の回数は、平成 30 年 4 月入学対象では、3 学系とも第 2 回まで実施する予定になっています。

なお、農学系では社会人特別選抜は実施しません。

※理学系及び工学系における選抜試験では、1 専攻 1 コースでのみの出願になります。

ただし、農学系では農学系専攻での出願となり、コース分けは入学後に行います。

3. 入試スケジュール

● [理学系]：基盤科学系専攻・地球圏生命物質科学系専攻 (吉田キャンパス)

A. 推薦入試による選抜 (物理学コース・情報科学コース・地球科学コース)

平成 30 年 4 月入学のみ

区 分	日 程 等
出 願 期 間	平成29年 6 月 6 日(火)～6 月 8 日(木)
選 抜 期 日	平成29年 7 月 3 日(月)
合 格 発 表	平成29年 7 月 18 日(火)
入 学 手 続	平成30年 2 月 27 日(火)～3 月 2 日(金)

B. 一般選抜及び社会人特別選抜

(1) 平成 29 年 10 月入学

区 分	日 程 等
事前審査受付期間	平成29年 6 月 12 日(月)～6 月 14 日(水)
事前審査結果通知	平成29年 6 月 23 日(金)
出 願 期 間	平成29年 7 月 3 日(月)～7 月 7 日(金)
選 抜 期 日	平成29年 8 月 6 日(日), 8 月 7 日(月)
合 格 発 表	平成29年 8 月 25 日(金)正午
入 学 手 続	平成29年 9 月 4 日(月)～9 月 6 日(水)

(2) 平成 30 年 4 月入学 (第 1 回)

区 分	日 程 等
出 願 期 間	平成29年 7 月 3 日(月)～7 月 7 日(金)※
選 抜 期 日	平成29年 8 月 6 日(日), 8 月 7 日(月)※
合 格 発 表	平成29年 8 月 25 日(金)正午
入 学 手 続	平成30年 2 月 27 日(火)～3 月 2 日(金)

※化学コースのみ、口頭試問または学力検査での受験に対する審査を行うため、次の出願期間及び口頭試問実施日となりますが、学力検査においては、上記選抜期日で行うこととなります。

出願期間：平成29年6月26日（月）～6月30日（金）

口頭試問実施日：平成29年7月12日（水）

(3) 平成30年4月入学（第2回）

区 分	日 程 等
出 願 期 間	平成29年12月19日(火)～12月21日(木)
選 抜 期 日	平成30年1月16日(火), 1月17日(水)
合 格 発 表	平成30年1月30日(火)正午
入 学 手 続	平成30年2月27日(火)～3月2日(金)

● [工学系]：機械工学系専攻・建設環境系専攻・化学系専攻・電気電子情報系専攻(常盤キャンパス)

A. 口述試験による選抜

平成30年4月入学のみ

区 分	日 程 等
事前審査書類提出期間	平成29年6月20日(火)～6月23日(金)
事前審査結果通知	平成29年7月7日(金)
出 願 期 間	平成29年7月19日(水)～7月21日(金)
選 抜 期 日	平成29年8月9日(水)
合 格 発 表	平成29年8月28日(月)
入 学 手 続	平成30年2月27日(火)～3月2日(金)

※口述試験による選抜は、必ず事前審査書類提出期間に所定の書類を提出してください。

事前審査書類提出期間に所定の書類を提出しなかった場合は、口述試験による選抜には出願できません。

B. 一般選抜及び社会人特別選抜

(1) 平成29年10月入学

区 分	日 程 等
事前審査受付期間	平成29年6月12日(月)～6月14日(水)
事前審査結果通知	平成29年6月30日(金)
出 願 期 間	平成29年7月3日(月)～7月5日(水)
選 抜 期 日	平成29年8月9日(水)
合 格 発 表	平成29年8月28日(月)正午
入 学 手 続	平成29年9月4日(月)～9月6日(水)

(2) 平成30年4月入学（第1回）

区 分	日 程 等
出 願 期 間	平成29年7月10日(月)～7月13日(木)
選 抜 期 日	平成29年8月9日(水)
合 格 発 表	平成29年8月28日(月)
入 学 手 続	平成30年2月27日(火)～3月2日(金)

(3) 平成30年4月入学（第2回）

区 分	日 程 等
出 願 期 間	平成29年11月20日(月)～11月24日(金)
選 抜 期 日	平成29年12月15日(金)
合 格 発 表	平成30年1月17日(水)
入 学 手 続	平成30年2月27日(火)～3月2日(金)

● [農学系]：農学系専攻（吉田キャンパス）

A. 一般選抜

(1) 平成29年10月入学

区 分	日 程 等
出 願 期 間	平成29年7月3日(月)～7月5日(水)
選 抜 期 日	平成29年8月7日(月)
合 格 発 表	平成29年8月28日(月)
入 学 手 続	平成29年9月4日(月)～9月6日(水)

(2) 平成30年4月入学（第1回）

区 分	日 程 等
出 願 期 間	平成29年7月3日(月)～7月5日(水)
選 抜 期 日	平成29年8月7日(月)
合 格 発 表	平成29年8月28日(月)
入 学 手 続	平成30年2月27日(火)～3月2日(金)

(3) 平成30年4月入学（第2回）

区 分	日 程 等
出 願 期 間	平成30年1月4日(木)～1月9日(火)
選 抜 期 日	平成30年1月18日(木)
合 格 発 表	平成30年2月2日(金)
入 学 手 続	平成30年2月27日(火)～3月2日(金)

II 専攻別募集人員

学 系	専 攻	コ ー ス	募集人員（※1）	
			（平成30年4月入学）	（平成29年10月入学）
理学系	基盤科学系専攻	数理科学コース	38	若干名
		物理学コース		
		情報科学コース		
	地球圏生命物質科学系専攻	生物学コース	42	
		化学コース		
		地球科学コース		
工学系	機械工学系専攻	応用医工学コース	60	
		航空宇宙エネルギーコース		
		メカノシステムデザインコース		
	建設循環系専攻	社会建設工学コース	74	
		国際建設技術コース		
		環境システム工学コース		
		建築学コース		
	化学系専攻	物質化学コース	83	
		生命化学コース		
		環境化学・化学工学コース		
	電気電子情報系専攻	電子デバイス工学コース	107	
		電子システム工学コース		
知能情報メディア工学コース				
情報システム工学コース				

農学系	農学系専攻	農学コース※2	42	
		生命科学コース※2		

- (※1) 平成29年10月入学対象では若干名の募集人員になります。
平成30年4月入学対象では、推薦入試による選抜、口述試験による選抜、一般選抜及び社会人特別選抜の第1回、第2回における募集人員を含みます。
- (※2) 農学系専攻におけるコース分けは入学後、各自、指導教員と相談を行い決定します。
そのため、農学系専攻を出願する際は、コースを記載する必要はありません。
- (備考) 次項以降、学系で表示している箇所は、上記一覧表の学系を意味します。
学系での表示は、学系に含まれる専攻・コースを含みますので、ご注意ください。

推薦入試による選抜

[理学系]

基盤科学系専攻（物理学コース・情報科学コース）

地球圏生命物質科学系専攻（地球科学コース）

推薦入試による選抜は、[理学系]：基盤科学系専攻（物理学コース・情報科学コース）、地球圏生命物質科学系専攻（地球科学コース）においてのみ、実施します。推薦入試による選抜に出願しようとする者は、所属する（所属した）大学等の学部等の長・学科等の長・指導教員等による推薦書を提出していただく必要があります。

I 出願資格

下記のア又はイの者で、学業成績・人物ともに優れ、推薦者が責任を持って推薦でき、合格した場合、入学を確約できる者。

- ア. 平成 30 年 3 月までに大学を卒業見込みの者または卒業した者
- イ. 修業年限 2 年の短期大学に置かれた修業年限 2 年の専攻科、修業年限 3 年の短期大学に置かれた修業年限 1 年の専攻科、高等専門学校に置かれた修業年限 2 年の専攻科のいずれかであって、学位規則第 6 条第 1 項の規定に基づき大学評価・学位授与機構が定めている要件を満たすものとして認定された専攻科を平成 30 年 3 月までに修了見込みの者で、平成 30 年 3 月までに学士の学位の授与を受けようとする者、または修了した者で学士の学位を授与された者

II 出願手続等

1. 出願期間

学系	専攻名等	出願期間
理学系	基盤科学系専攻 (物理学コース・情報科学コース) 地球圏生命物質科学系専攻 (地球科学コース)	平成29年6月6日(火)～6月8日(木) 《17時15分 必着》

※持参する場合は、上記出願期間中の 9 時から 17 時 15 分まで受け付けます。

2. 出願書類等

入学志願票	本研究科所定の用紙（本募集要項とじ込み）に、必要事項を記入してください。
写真票 受験票	本研究科所定の用紙（本募集要項とじ込み）に、必要事項を記入してください。 写真票の所定欄に、出願前 3 か月以内に撮影した上半身・無帽・正面向きの写真（4cm × 3cm）をはってください。
卒業(修了)証明書 または 卒業(修了)見込証明書	出身大学長（学部長）が作成したもの。 （本学理学部卒業（見込み）者は不要）
推薦書	本研究科所定の用紙（本募集要項とじ込み）を使用し、所属する（所属した）大学等の学部等の長・学科等の長・指導教員等が作成し、厳封したもの。
成績証明書	出身大学長（学部長）が作成し、厳封したもの。 （本学理学部卒業（見込み）者は不要） また、専攻科修了見込みの者または修了した者は、短期大学若しくは高等専門学校の成績証明書も提出してください。
TOEIC 又は TOEFL スコアシート	「地球圏生命物質科学系専攻（地球科学コース）」に出願する者は、TOEIC 又は TOEFL のスコアシート及びそのコピーを提出してください。 なお、TOEIC については、TOEIC 公開テストのスコアのみ、TOEFL については、TOEFL-PBT、iBT、CBT が有効です。ただし、大学等において英語カリキュラム制度の一環として TOEIC 又は TOEFL を受験している場合は、大学等における TOEIC-IP テスト（団体特別受験制度）又は TOEFL-ITP（団体向け TOEFL テストプログラム）のスコアも有効としますが、その場合は、TOEIC 又は TOEFL を英語カリキュラム制度の一環として取り入れていることが分かるもの（履修の手引きのコピー等）を添付してください。

検 定 料	30,000 円 本研究科所定の払込用紙（本募集要項とじ込み）に、必要事項を記入のうえ最寄りの郵便局・ゆうちょ銀行で山口大学指定の口座に払い込んだ後、郵便局・ゆうちょ銀行から受け取った振替払込受付証明書（お客さま用）を所定欄にはり付けてください。 なお、納入された検定料は、6. の検定料を返還請求できる場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
あて名票	本研究科所定の用紙（本募集要項とじ込み）に、必要事項を記入してください。
その他証明書	【出願資格イにより出願する者】 ・学士の学位を授与された者は学位授与証明書 ・学士の学位を授与される見込みの者は、在籍する短期大学長または高等専門学校長が発行する次の証明書。 ①在籍する専攻科の修了見込証明書 ②学士の学位の授与を申請する予定である旨の証明書（様式任意）

※出願書類等については、本研究科入学者選抜において必要なためご提出いただくものであり、これによって得た個人情報、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律第9条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で使用又は第三者に提供することはありません。

3. 出 願 方 法

入学志願者は出願書類等を取りまとめ、「5. 提出先」へ提出してください。

4. 志 望 方 法

(1) 志望専攻及びコース

志望は1専攻1コースに限ります。

ただし、指導教員毎に受け入れ人数に限りがあります。それを超えた場合、面接等により調整することがあります。

(2) 入学志願票の記入について

ア. 志望学系・受験区分、志望専攻・コース及び希望指導教員

山口大学大学院創成科学研究科博士前期課程案内（35ページ～）を参照のうえ、志望学系・受験区分、志望専攻・コース及び希望指導教員名を必ず記入してください。

イ. 受験区分コード

受験区分コードは、物理学コースは42を、情報科学コースは43を、地球科学コースは46を志願票の受験区分コード欄に記入してください。

5. 提 出 先

山口大学理学部学務係 〒 753-8512 山口市吉田1 6 7 7 - 1
電話 (083) 933-5215

6. 検定料の返還について

(1) 次に該当した場合は納入済みの検定料を返還します。

- ① 検定料を納入済みであるが山口大学に出願しなかった場合
- ② 検定料を誤って二重に納入した場合又は誤って所定の金額より多く納入した場合
- ③ 出願書類等を提出したが出願が受理されなかった場合

(2) 返還請求の方法

上記①又は②に該当した場合は、下記の連絡先に連絡してください。連絡があった後に「検定料払戻請求書」を送付しますので、必要事項を記入のうえ郵送してください。

また、上記③の場合は、出願書類返却の際に「検定料払戻請求書」を同封しますので、必要事項を記入のうえ、下記の連絡先に郵送してください。

連絡先 〒 753-8511
 山口市吉田 1 6 7 7 - 1
 国立大学法人 山口大学財務部財務課
 電話 0 8 3 (9 3 3) - 5 0 9 8

Ⅲ 選 抜 方 法 等

試験及び出願書類を総合して判定します。

1. 選 抜 期 日

学系	専 攻 名	期 日	試験科目	時 間
理学系	基盤科学系専攻 (物理学コース・情報科学コース)	平成29年7月3日(月)	面接	9時00分～
	地球圏生命物質科学系専攻 (地球科学コース)		プレゼンテーション 面接	

※地球科学コースの試験では、はじめに卒業論文等の研究内容について、液晶プロジェクターを用いてプレゼンテーションを10分間していただきます(PCは各自用意してください)。引き続き、その内容をふまえた質疑応答・面接を行います。

2. 試験場

山口大学理学部 山口市吉田 1677-1
 ※裏表紙の案内図を参照してください。

3. 注意事項

- (1) 受験の際に、受験票を必ず携行してください。
- (2) 携帯電話等は、試験控室に入る前にアラームの設定を解除し必ず電源を切ってかばん等に入れておいてください。
- (3) 提出書類については、出願手続後、内容の変更を認めません。
- (4) 入学試験に関する照会は、次をお願いします。
 山口大学理学部学務係 電話 (083) 933-5215

Ⅳ 合 格 発 表

平成 29 年 7 月 18 日 (火) 正午予定 山口大学理学部 1 号館玄関に掲示

上記のとおり掲示するとともに、合格者には合格通知書を郵送します。
 なお、電話による照会には一切応じません。

口述試験による選抜

[工学系]

口述試験による選抜は、[工学系]においてのみ、実施します。出願希望者は、前出の入試スケジュールを基に、事前審査書類提出期間前に必ず希望する専攻・コースの指導教員に相談すること。

また、口述試験による選抜では、出願資格事前審査を行います。必ず事前審査書類提出期間内に、所定の書類を提出してください。出願資格事前審査を受けていない出願希望者は、口述試験による選抜に出願することはできません。

I 出願資格

下記のア又はイの者で、学業成績・人物ともに優れ、出願資格事前審査で成績優秀と認められた者で、合格した場合、入学を確約できる者。

ア. 平成30年3月までに大学を卒業見込みの者または卒業した者

イ. 修業年限2年の短期大学に置かれた修業年限2年の専攻科、修業年限3年の短期大学に置かれた修業年限1年の専攻科、高等専門学校に置かれた修業年限2年の専攻科のいずれかであって、学位規則第6条第1項の規定に基づき大学評価・学位授与機構が定めている要件を満たすものとして認定された専攻科を平成30年3月までに修了見込みの者で、平成30年3月までに学士の学位の授与を受けようとする者、または修了した者で学士の学位を授与された者

なお、学業成績が優れた者の基準は以下のとおりです。

【学業成績が優れた者の基準】

【工学系】：機械工学系専攻・建設環境系専攻・化学系専攻・電気電子情報系専攻

(大学を卒業見込みの者または卒業した者)

所属学科内での専門科目の成績順位が上位2/5以内の者または専門科目の優以上(点数評価にして80点相当以上)の成績評価が修得単位数の2/5以上の者

(専攻科修了見込みの者または修了した者)

短期大学または高等専門学校の専門科目及び専攻科の専門科目の優以上(点数評価にして80点相当以上)の成績評価が修得単位数の2/5以上の者

II 出願資格事前審査

1. 事前審査書類提出期間

学系	専攻名	提出期間
工学系	機械工学系専攻 建設環境系専攻 化学系専攻 電気電子情報系専攻	平成29年6月20日(火)～6月23日(金) 《17時15分 必着》

※上記提出期間中に持参する場合は、9時から17時15分まで受け付けます。

2. 事前審査提出書類

口述試験事前審査申請書	本研究科所定の用紙(本募集要項とじ込み)に必要な事項を記入してください。
卒業(修了)証明書または卒業(修了)見込証明書	出身大学長(学部長)が作成したもの。 (本学工学部卒業(見込み)者は不要)
成績証明書	出身大学長(学部長)が作成し、厳封したもの。 (本学工学部卒業(見込み)者は不要) なお、所属学科内での、専門科目の成績順位が上位2/5以内により出願する者は、成績順位が分かるものを合わせて提出してください。 また、専攻科修了見込みの者または修了した者は、短期大学若しくは高等専門学校の成績証明書も提出してください。

返信用封筒	長形3号に本人の住所・氏名・郵便番号を明記し、82円切手を貼ったもの。(本学工学部卒業(見込み)者は不要)
その他証明書	【出願資格イにより出願する者】 ・学士の学位を授与された者は学位授与証明書 ・学士の学位を授与される見込みの者は、在籍する短期大学長または高等専門学校長が発行する次の証明書。 ①在籍する専攻科の修了見込証明書 ②学士の学位の授与を申請する予定である旨の証明書(様式任意)

3. 提出先

[工学系]: 機械工学系専攻・建設環境系専攻・化学系専攻・電気電子情報系専攻
 山口大学工学部学務課入試係 〒755-8611 宇部市常盤台2丁目16-1
 電話(0836)85-9009

4. 結果通知

学系	専攻名	結果通知期日
工学系	機械工学系専攻 建設環境系専攻 化学系専攻 電気電子情報系専攻	平成29年7月7日(金)

※事前審査で口述試験による選抜への出願が認められた者は、Ⅲ出願手続等を参照のうえ、出願期間内に手続を行うようにしてください。

事前審査で口述試験による選抜への出願が認められなかった者は、「一般選抜」への出願となります。

Ⅲ 出願手続等

1. 出願期間

学系	専攻名	出願期間
工学系	機械工学系専攻 建設環境系専攻 化学系専攻 電気電子情報系専攻	平成29年7月19日(水)～7月21日(金) 《17時15分 必着》

※持参する場合は、上記出願期間中の9時から17時15分まで受け付けます。

2. 出願書類等

入学志願票	本研究科所定の用紙(本募集要項とじ込み)に、必要事項を記入してください。
写真票 受験票	本研究科所定の用紙(本募集要項とじ込み)に、必要事項を記入してください。 写真票の所定欄に、出願前3か月以内に撮影した上半身・無帽・正面向きの写真(4cm×3cm)をはってください。
検定料	30,000円 本研究科所定の払込用紙(本募集要項とじ込み)に、必要事項を記入のうえ最寄りの郵便局・ゆうちょ銀行で山口大学指定の口座に払い込んだ後、郵便局・ゆうちょ銀行から受け取った振替払込受付証明書(お客さま用)を所定欄にはり付けてください。 なお、納入された検定料は、6.の検定料を返還請求できる場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
あて名票	本研究科所定の用紙(本募集要項とじ込み)に、必要事項を記入してください。

※出願書類等については、本研究科入学者選抜において必要なためご提出いただくものであり、これによって得た個人情報、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律第9条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で使用又は第三者に提供することはありません。

3. 出 願 方 法

入学志願者は出願書類等を取りまとめ、「5. 提出先」へ提出してください。

出願書類を郵送する場合は、「速達書留」とし、封筒の表に「博士前期課程 出願書類在中」と朱書してください。

4. 志 望 方 法

(1) 志望専攻及びコース

志望は1専攻1コースに限ります。

ただし、指導教員毎に受け入れ人数に限りがあります。それを超えた場合、面接等により調整することがあります。

(2) 入学志願票の記入について

ア. 志望学系・受験区分、志望専攻・コース及び希望指導教員

山口大学大学院創成科学研究科博士前期課程案内(35ページ～)を参照のうえ、志望学系・受験区分、志望専攻・コース及び希望指導教員名を必ず記入してください。

イ. 受験区分コード

[工学系]の受験者は、教員の所属する受験区分により受験することとなります。志願票の受験区分コード欄は記入しないでください。受験区分コードは、受験票により通知します。

5. 提 出 先

[工学系]：機械工学系専攻・建設環境系専攻・化学系専攻・電気電子情報系専攻

山口大学工学部学務課入試係 〒755-8611 宇部市常盤台2丁目16-1

電話 (0836) 85-9009

6. 検定料の返還について

(1) 次に該当した場合は納入済みの検定料を返還します。

①検定料を納入済みであるが山口大学に出願しなかった場合

②検定料を誤って二重に納入した場合又は誤って所定の金額より多く納入した場合

③出願書類等を提出したが出願が受理されなかった場合

(2) 返還請求の方法

上記①又は②に該当した場合は、下記の連絡先に連絡してください。連絡があった後に「検定料払戻請求書」を送付しますので、必要事項を記入のうえ郵送してください。

また、上記③の場合は、出願書類返却の際に「検定料払戻請求書」を同封しますので、必要事項を記入のうえ、下記の連絡先に郵送してください。

連絡先 〒753-8511 山口市吉田1677-1 国立大学法人 山口大学財務部財務課 電話 083(933)-5098

IV 選 抜 方 法 等

口述試験及び出願書類を総合して判定します。

1. 口述試験による選抜の受験区分

口述試験による選抜は、受験票に記載された受験区分コードごとの受験となります。

2. 選 抜 期 日

学系	専攻名	期 日	試験科目	時 間
工学系	機械工学系専攻 建設環境系専攻 化学系専攻 電気電子情報系専攻	平成29年8月9日(水)	口述試験	9時00分～

3. 試験場

[工学系]：機械工学系専攻・建設環境系専攻・化学系専攻・電気電子情報系専攻
山口大学工学部 宇部市常盤台2丁目16-1
裏表紙の案内図を参照してください。

4. 注意事項

- (1) 受験の際に、受験票を必ず携行してください。
- (2) 携帯電話等は、試験控室に入る前にアラームの設定を解除し必ず電源を切ってかばん等に入れておいてください。
- (3) 提出書類については、出願手続後、内容の変更を認めません。
- (4) 入学試験に関する照会は、次をお願いします。

[工学系]：機械工学系専攻・建設環境系専攻・化学系専攻・電気電子情報系専攻
山口大学工学部学務課入試係 電話 (0836) 85-9009

V 合 格 発 表

[工学系]：機械工学系専攻・建設環境系専攻・化学系専攻・電気電子情報系専攻（常盤キャンパス）
平成29年8月28日（月）正午予定 山口大学工学部本館前掲示板に掲示

上記のとおり掲示するとともに、合格者には合格通知書を郵送します。
なお、電話による照会には一切応じません。

一 般 選 拔

[理学系]

[工学系]

[農学系]

I 出願資格 []内は平成29年10月入学者対象

1. 大学を卒業した者及び平成30年3月〔平成29年9月〕までに卒業見込みの者
2. 学校教育法第104条第4項の規定により大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び平成30年3月〔平成29年9月〕までに授与見込みの者
3. 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び平成30年3月〔平成29年9月〕までに修了見込みの者
4. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者又は平成30年3月〔平成29年9月〕までに修了見込みの者
5. 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者又は平成30年3月〔平成29年9月〕までに修了見込みの者
6. 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は平成30年3月〔平成29年9月〕までに修了見込みの者
7. 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者又は平成30年3月〔平成29年9月〕までに授与見込みの者
8. 文部科学大臣の指定した者（昭和28年2月7日文部省告示第5号）

（以下の出願資格9, 10及び11により出願を希望する者は、事前審査を受ける必要がありますので、31ページの「出願資格事前審査申請について」を参照してください。）

9. 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
10. 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成30年3月〔平成29年9月〕末までに22歳に達する者
11. 平成30年3月〔平成29年9月〕末日で次のいずれかに該当する者で、所定の単位を優れた成績で修得したと本研究科において認めた者
 - (1) 大学に3年以上在学した者
 - (2) 外国において学校教育における15年の課程を修了した者
 - (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者
 - (4) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

※出願希望者は、出願前（なるべく早い時期）に希望する専攻・コースの指導教員に相談すること。

II 出願手続等

1. 出願期間

- [理学系]：基盤科学系専攻・地球圏生命物質科学系専攻（吉田キャンパス）

平成29年10月入学	平成29年7月3日(月)～7月7日(金) 《17時15分 必着》
平成30年4月入学 (第1回)	平成29年7月3日(月)～7月7日(金)※《17時15分 必着》
平成30年4月入学 (第2回)	平成29年12月19日(火)～12月21日(木) 《17時15分 必着》

(備考) 持参する場合は、前出出願期間中の9時から17時15分まで受け付けます。

※平成30年4月入学(第1回)「地球圏生命物質科学系専攻(化学コース)」のみ、口頭試問または学力検査での受験に対する審査を行うため、次の出願期間となります。

平成29年6月26日(月)～6月30日(金)

● [工学系]：機械工学系専攻・建設環境系専攻・化学系専攻・電気電子情報系専攻(常盤キャンパス)

平成29年10月入学	平成29年7月3日(月)～7月5日(水)《17時15分 必着》
平成30年4月入学 (第1回)	平成29年7月10日(月)～7月13日(木)《17時15分 必着》
平成30年4月入学 (第2回)	平成29年11月20日(月)～11月24日(金)《17時15分 必着》

(備考) 持参する場合は、上記出願期間中の9時から17時15分まで受け付けます。

● [農学系]：農学系専攻(吉田キャンパス)

平成29年10月入学	平成29年7月3日(月)～7月5日(水)《17時15分 必着》
平成30年4月入学 (第1回)	平成29年7月3日(月)～7月5日(水)《17時15分 必着》
平成30年4月入学 (第2回)	平成30年1月4日(木)～1月9日(火)《17時15分 必着》

(備考) 持参する場合は、上記出願期間中の9時から17時15分まで受け付けます。

2. 出 願 書 類 等

入学志願票	本研究科所定の用紙(本募集要項とじ込み)に、必要事項を記入してください。
写 真 票 受 験 票	本研究科所定の用紙(本募集要項とじ込み)に、必要事項を記入してください。写真票の所定欄に、出願前3か月以内に撮影した上半身・無帽・正面向きの写真(4cm×3cm)をはってください。
卒業(見込) 証明書	出身大学長(学部長)が作成したもの(本学理学部・工学部・農学部卒業(見込み)者は不要)。
成績証明書	出身大学長(学部長)が作成し、厳封したもの。(本学理学部・工学部・農学部卒業(見込み)者は不要) 専攻科修了見込み者または修了した者は、専攻科の成績証明書と併せて、短期大学若しくは高等専門学校(専門学校)の成績証明書も提出してください。
研究(希望) 計画書	「基盤科学系専攻(数理科学コース)」に志願する者、「地球圏生命物質科学系専攻(化学コース)」の口頭試問による受験を希望する者は、本研究科所定の用紙(本募集要項とじ込み)に記入のうえ提出してください。(工学系及び農学系は提出の必要はありません。)
検 定 料	30,000円 本研究科所定の払込用紙(本募集要項とじ込み)に、必要事項を記入のうえ最寄りの郵便局・ゆうちょ銀行で山口大学指定の口座に払い込んだ後、郵便局・ゆうちょ銀行から受け取った振替払込受付証明書(お客さま用)を所定欄にはり付けてください。 なお、納入された検定料は、19ページ6.の検定料を返還請求できる場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
TOEIC 又は TOEFL スコアシート	「 <u>基盤科学系専攻(物理学コース・情報科学コース)</u> 」・「 <u>地球圏生命物質科学系専攻(生物学コース・地球科学コース)</u> 」、工学系の一般選抜志願者は、TOEIC又はTOEFLのスコアシート及びそのコピーを提出してください。(オリジナルは、確認後返却します。)スコアシートは、平成26年4月以降に受験したものが有効となります。 なお、TOEICについては、TOEIC公開テストのスコアのみ、TOEFLについては、TOEFL-PBT、iBT、CBTが有効です。ただし、大学等において英語カリキュラム制度の一環としてTOEIC又はTOEFLを受験している場合は、大学等におけるTOEIC-IPテスト(団体特別受験制度)又はTOEFL-ITP(団体向けTOEFLテストプログラム)のスコアも有効としますが、その場合は、TOEIC又はTOEFLを英語カリキュラム制度の一環として取り入れていることが分かるもの(履修の手引きのコピー等)を添付してください。(農学系は提出の必要はありません。また、山口大学在学者または卒業生は、履修の手引きのコピー等の提出は必要ありません。)

工学系数学統一試験の成績	学力検査において、工学系を志願する者で、工学系数学統一試験を選択した受験者は、成績票及びそのコピーを提出してください。(オリジナルは、確認後返却します。)なお、工学系数学統一試験の成績は、平成27年度及び平成28年度に受験された成績が有効となります。
あて名票	本研究科所定の用紙(本募集要項とじ込み)に、必要事項を記入してください。
その他証明書	<p>【出願資格2による出願者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学士の学位を授与された者は、学位授与証明書。 ・学士の学位を授与される見込みの者は、在籍する短期大学長又は高等専門学校長が発行する次の証明書。 <p>①在籍する専攻科の修了見込証明書 ②学士の学位の授与を申請する予定である旨の証明書(様式任意)</p> <p>【出願資格5による出願者】</p> <p>出身学校の長が発行する証明書(本募集要項とじ込み、出願資格5用)</p> <p>【機械工学系専攻の一般選抜に志願する者】</p> <p>応用数学科目免除(数検1級合格)を願い出る者は、その証明となるものを提出してください。</p>

※出願書類等は、本研究科入学者選抜において必要なため、提出いただくものです。これによって得た個人情報、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律第9条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で使用又は第三者に提供することはありません。

3. 出願方法

入学志願者は出願書類等を取りまとめ、「5. 提出先」へ提出してください。

出願書類を郵送する場合は、「速達書留」とし、封筒の表に「博士前期課程出願書類在中」と朱書してください。

4. 志望方法

(1) 志望専攻

志望は1専攻1コースに限ります。

(農学系を志望する者は、農学系専攻での志望となるため、コースを選択することはありません。)

ただし、指導教員毎に受け入れ人数に限りがあります。それを超えた場合、面接等により調整することがあります。

(2) 入学志願票の記入について

ア. 志望学系、受験区分、志望専攻・コース及び希望指導教員

山口大学大学院創成科学研究科博士前期課程案内(35ページ～)を参照のうえ、志望学系、受験区分、専攻・コース及び希望指導教員名を必ず記入してください。

(農学系専攻はコースを記入しないでください。)

イ. 受験区分コード

受験区分コードは、21～22ページ「2. 一般選抜受験区分コード」及び「3. 専門科目の内容」を参照し、希望する指導教員と相談のうえ、志願票の受験区分コード欄に記入してください。

5. 提出先

[理学系]: 基盤科学系専攻・地球圏生命物質科学系専攻

山口大学理学部学務係 〒753-8512 山口市吉田1677-1
電話 (083) 933-5215

[工学系]: 機械工学系専攻・建設環境系専攻・化学系専攻・電気電子情報系専攻

山口大学工学部学務課入試係 〒755-8611 宇部市常盤台2丁目16-1
電話 (0836) 85-9009

[農学系]: 農学系専攻

山口大学農学部学務係 〒753-8515 山口市吉田1677-1
電話 (083) 933-5811

6. 検定料の返還について

(1) 次に該当した場合は納入済みの検定料を返還します。

- ①検定料を納入済みであるが山口大学に出願しなかった場合
- ②検定料を誤って二重に納入した場合又は誤って所定の金額より多く納入した場合
- ③出願書類等を提出したが出願が受理されなかった場合

(2) 返還請求の方法

上記①又は②に該当した場合は、下記の連絡先に連絡してください。連絡があった後に「検定料払戻請求書」を送付しますので、必要事項を記入のうえ郵送してください。

また、上記③の場合は、出願書類返却の際に「検定料払戻請求書」を同封しますので、必要事項を記入のうえ、下記の連絡先に郵送してください。

連絡先 〒 753-8511
 山口市吉田1 6 7 7 - 1
 国立大学法人 山口大学財務部財務課
 電話 083 (933) - 5098

Ⅲ 選 抜 方 法 等

学力検査（基盤科学系専攻（数理科学コース）では、課しません。）、面接（基盤科学系専攻・地球圏生命物質科学系専攻）及び学業成績を総合して判定します。

1. 学力検査等

10月入学・4月入学（第1回及び第2回）

学系	専攻	コース	学力検査	面接
理 学 系	基盤科学系専攻	数理科学コース	課さない	面接 ^{*1}
		物理学コース	英語 ^{*2} 、専門科目	
		情報科学コース	英語 ^{*2} 、専門科目	
	地球圏生命物質科学系専攻	生物学コース	英語 ^{*2} 、専門科目	面接 ^{*1}
		化学コース	英語、専門科目 (口頭試問合格者は免除)	口頭試問 ^{*3}
	地球科学コース	英語 ^{*2} プレゼンテーション ^{*4}	面接 ^{*1}	
工 学 系	機械工学系専攻 ^{*6}	応用医工学コース	英語 ^{*2} 応用数学 ^{*5} 専門科目	
		航空宇宙エネルギーコース		
		メカノシステムデザインコース		
	建設環境系専攻	社会建設工学コース		
		国際建設技術コース		
		環境システム工学コース		
		建築学コース		
	化学系専攻	物質化学コース		
		生命化学コース		
		環境化学・化学工学コース		
	電気電子情報系専攻	電子デバイス工学コース		
		電子システム工学コース		
		知能情報メディア工学コース		
情報システム工学コース				
農 学 系	農学系専攻	農学コース	英語、専門科目	
		生命科学コース		

- ※1 面接は志望する専攻・コースに関連した学力について、問うことがあります。
- ※2 理学系の基盤科学系専攻(物理学コース・情報科学コース)・地球圏生命物質科学系専攻(生物学コース・地球科学コース)及び工学系における英語の学力検査は、英語能力テスト(TOEIC又はTOEFL)のスコアにより評価します。筆記試験は行いませんので注意してください。
- TOEICとTOEFLのスコアは、TOEIC600点とTOEFL-PBT 500点(CBT及びiBTについてはPBTのスコアに換算)をそれぞれ筆記試験100点満点の80点に換算して評価します。換算式については、別表1を参照してください。

別表1：換算式

x：TOEIC又はTOEFLのスコア
y：換算点(100点満点における評価点)

TOEIC		TOEFL	
$y = (2 / 15) x \quad (0 \leq x \leq 600)$		$y = (8x - 2480) / 19 \quad (310 \leq x \leq 500)$	
$y = (2x + 1920) / 39 \quad (600 < x \leq 990)$		$y = (20x + 4160) / 177 \quad (500 < x \leq 677)$	
換算例		換算例	
x	y	x	y
300	40	400	38
450	60	450	59
600	80	500	80
800	90	600	91

- ※3 口頭試問について(平成30年4月入学(第1回)地球圏生命物質化学系専攻 化学コース対象)
「地球圏生命物質科学系専攻(化学コース)」を志願する者の選抜は、「学力検査・面接」又は「口頭試問」により行います。出願時に「口頭試問」による受験の希望の有無について、「入学志願票」の口頭試問希望調査欄に記入してください。「学力検査・面接」又は「口頭試問」のいずれの受験になるかは、入学志願票、成績証明書及び研究(希望)計画書によって審査し、受験票を送付する際に通知します。なお、「口頭試問」の選考結果は、平成29年7月20日(木)までに本人に通知します。「口頭試問」の合格者は「学力検査・面接」が免除されます。「口頭試問」で合格とならなかった者は、「学力検査・面接」を受験してください。
- ※4 地球科学コースの試験では、はじめに卒業論文等の研究内容について、液晶プロジェクターを用いてプレゼンテーションを10分間していただきます(PCは各自用意してください)。引き続き、その内容をふまえた質疑応答・面接を行います。
- ※5 工学系における応用数学の学力検査は、筆記試験または工学系数学統一試験の成績による評価のいずれかを選択することができます。
- 換算式については、別表2を参照してください。
- 志願者は、以下の二つの方法から一つを選択し、志願票に記載してください。
- 1) 応用数学の筆記試験を受験する方法。
 - 2) 工学系数学統一試験の成績票を提出し、換算式に従って応用数学の評価を受ける方法。この場合、出願時に成績表とそのコピーを提出してください。(オリジナルは確認後に返却)
- 換算は、数学統一試験の「微分積分」「線形代数」の2分野と「常微分方程式」または「確率・統計」いずれか1分野を合わせて3分野の合計得点(300点満点)に対してなされます。
- 分野の選択の申告は出願時に行います。なお、工学系数学統一試験の成績は、平成27年度及び平成28年度に受験された成績を採用します。

別表2：換算式

工学系数学統一試験3分野の山口大学受験者の平均点をA点とする。

- ・平成27年度：「常微分方程式」を選択した場合 A=97
「確率・統計」を選択した場合 A=102
- ・平成28年度：「常微分方程式」を選択した場合 A=133
「確率・統計」を選択した場合 A=125

この平均点を用いて工学系数学統一試験x点(300点満点)を応用数学y点(100点満点)に換算する式は次のとおりです。

$x=A$ の場合： $y=70$ $x<A$ の場合： $y=(70/A)x$ $x>A$ の場合： $y=\{30/(300-A)\}(x-A)+70$
--

※6 工学系における機械工学系専攻志願者で、数検1級合格者は学力試験科目の応用数学を免除します。

2. 一般選抜受験区分コード

一般選抜は、志願票に記載された受験区分コードごとの受験となりますので、出願前に希望する指導教員と相談してください。

学系	専攻	コース	受験区分コード
理学系	基盤科学系専攻	数理科学コース	41
		物理学コース	42
		情報科学コース	43
	地球圏生命物質科学系専攻	生物学コース	44
		化学コース	45
		地球科学コース	46
工学系	機械工学系専攻	応用医工学コース	55
		航空宇宙エネルギーコース	55
		メカノシステムデザインコース	55
	建設環境系専攻	社会建設工学コース	56
		国際建設技術コース	56
		環境システム工学コース	52
		建築学コース	57
	化学系専攻	物質化学コース	51
		生命化学コース	51
		環境化学・化学工学コース	52
	電気電子情報系専攻	電子デバイス工学コース	53
		電子システム工学コース	53
		知能情報メディア工学コース	54
		情報システム工学コース	54
農学系	農学系専攻	農学コース	61
		生命科学コース	

3. 専門科目の内容

[理学系]：基盤科学系専攻・地球圏生命物質科学系専攻

専攻名	コース名	受験区分コード	専門科目の内容	備考
基盤科学系専攻	数理科学コース	41	学力検査は課さない。	
	物理学コース	42	力学，電磁気学，量子力学，統計熱力学，物理数学，物理一般から4問選択して解答する。	
	情報科学コース	43	基礎数学，応用数学，情報基礎の各分野から出題する。基礎数学分野から出題する2問は必修，応用数学分野と情報基礎分野からは3問出題し，その中から2問を選択して解答する。	
地球圏生命物質科学系専攻	生物学コース	44	生物学の分野から4問を選択して解答する。	
	化学コース	45	分析・無機化学，有機化学，物理・量子化学から，基礎問題3問，選択問題3問を出題する。基礎問題は全問必修，選択問題は2問を選択して解答する。	関数電卓*
	地球科学コース	46	学力検査において，専門科目は課さない。	

[工学系]：機械工学系専攻・建設環境系専攻・化学系専攻・電気電子情報系専攻

専攻名	コース名	受験区分コード	専門科目の内容		備考
機械工学系専攻	応用医工学コース	55	機械力学及び制御工学（古典）、水力学、熱力学、材料力学	4分野必修	関数電卓*
	航空宇宙エネルギーコース	55			関数電卓*
	メカシステムデザインコース	55			関数電卓*
建設環境系専攻	社会建設工学コース	56	構造力学、土質力学、水理学	3分野必修	関数電卓*
	国際建設技術コース	56			関数電卓*
	環境システム工学コース	52	物理化学、有機化学、化学工学（移動現象・単位操作）、環境浄化技術	4分野の中から試験時2分野選択	関数電卓*
	建築学コース	57	建築構造系、建築環境系、建築計画系	3分野必修	関数電卓*
化学系専攻	物質化学コース	51	物理化学、無機化学、有機化学、生物工学（化学工学を含む）	4分野の中から試験時2分野選択	関数電卓*
	生命化学コース	51			関数電卓*
	環境化学・化学工学コース	52	物理化学、有機化学、化学工学（移動現象・単位操作）、環境浄化技術	4分野の中から試験時2分野選択	関数電卓*
電気電子情報系専攻	電子デバイス工学コース	53	電磁気学、電気回路	2分野必修	
	電子システム工学コース	53			
	知能情報メディア工学コース	54	データ構造とアルゴリズム、プログラミング（C言語）、計算機アーキテクチャ（ブール代数、論理設計、論理回路、電子計算機を含む。）	3分野必修	
	情報システム工学コース	54			

*関数電卓は特殊機能（QRコード活用機能・不等式計算機能・表計算機能・メモリ機能・行列計算機能・ベクトル計算機能・周期表機能・高等統計分布計算等）のないもののみ持参可

[農学系]：農学系専攻

専攻名	コース名	受験区分コード	専門科目の内容	備考
農学系専攻	農学コース	61	※農学系専攻では、希望する指導教員によって専門科目の内容が異なります。その範囲は希望する指導教員の研究分野から出題します。詳しくは「43, 44 ページの教育研究分野」を参考にしてください。	
	生命科学コース			

4. 選 抜 期 日

ア. 平成 29 年 10 月 入 学

学系	専攻名	期 日	試験科目	時 間
理学系※	基盤科学系専攻 地球圏生命物質科学系専攻	平成29年8月6日(日)	専門科目 英 語	9時00分～12時00分 13時30分～15時00分
		平成29年8月7日(月)	プレゼンテーション 面 接	9時00分～
工学系	機械工学系専攻 建設環境系専攻 化学系専攻 電気電子情報系専攻	平成29年8月9日(水)	応用数学 専門科目	10時30分～12時00分 13時00分～16時00分
農学系	農学コース・生命科学コース	平成29年8月7日(月)	英 語 専門科目	9時00分～10時30分 11時00分～12時30分

- ※【理学系】「基盤科学系専攻（数理科学コース）」は、8月7日（月）の面接のみとします。
 【理学系】「地球圏生命物質科学系専攻（地球科学コース）」は、8月7日（月）のプレゼンテーションと面接のみとします。
 【理学系】における英語の試験については、「地球圏生命物質科学系専攻（化学コース）」のみ行います。
 【理学系】におけるプレゼンテーションの試験については、「地球圏生命物質科学系専攻（地球科学コース）」のみ行います。

イ. 平成30年4月入学（第1回）

学系	専攻名	期 日	試験科目	時 間
理学系※	基盤科学系専攻 地球圏生命物質科学系専攻	平成29年8月6日(日)	専門科目 英 語	9時00分～12時00分 13時30分～15時00分
		平成29年8月7日(月)	プレゼンテーション 面 接	9時00分～
工学系	機械工学系専攻 建設環境系専攻 化学系専攻 電気電子情報系専攻	平成29年8月9日(水)	応用数学 専門科目	10時30分～12時00分 13時00分～16時00分
農学系	農学系専攻	平成29年8月7日(月)	英 語 専門科目	9時00分～10時30分 11時00分～12時30分

- ※【理学系】「基盤科学系専攻（数理科学コース）」は、8月7日（月）の面接のみとします。
 【理学系】「地球圏生命物質科学系専攻（地球科学コース）」は、8月7日（月）のプレゼンテーションと面接のみとします。
 【理学系】における英語の試験については、「地球圏生命物質科学系専攻（化学コース）」のみ行います。
 【理学系】におけるプレゼンテーションの試験については、「地球圏生命物質科学系専攻（地球科学コース）」のみ行います。

ウ. 平成30年4月入学（第2回）

学系	専攻名	期 日	試験科目	時 間
理学系※	基盤科学系専攻 地球圏生命物質科学系専攻	平成30年1月16日(火)	専門科目 英 語	9時00分～12時00分 13時30分～15時00分
		平成30年1月17日(水)	プレゼンテーション 面 接	9時00分～
工学系	機械工学系専攻 建設環境系専攻 化学系専攻 電気電子情報系専攻	平成29年12月15日(金)	応用数学 専門科目	10時30分～12時00分 13時00分～16時00分
農学系	農学系専攻	平成30年1月18日(木)	英 語 専門科目	9時00分～10時30分 11時00分～12時30分

- ※【理学系】「基盤科学系専攻（数理科学コース）」は、1月17日（水）の面接のみとします。
 【理学系】「地球圏生命物質科学系専攻（地球科学コース）」は、1月17日（水）のプレゼンテーションと面接のみとします。
 【理学系】における英語の試験については、「地球圏生命物質科学系専攻（化学コース）」のみ行います。
 【理学系】におけるプレゼンテーションの試験については、「地球圏生命物質科学系専攻（地球科学コース）」のみ行います。

5. 試 験 場

- [理学系]：基盤科学系専攻・地球圏生命物質科学系専攻（吉田キャンパス）
 山口大学理学部 山口市吉田 1677-1
- [工学系]：機械工学系専攻・建設環境系専攻・化学系専攻・電気電子情報系専攻（常盤キャンパス）
 山口大学工学部 宇部市常盤台2丁目16-1
- [農学系]：農学系専攻（吉田キャンパス）
 山口大学農学部 山口市吉田 1677-1
- 裏表紙の案内図を参照してください。

6. 注意事項

- (1) 受験の際に、受験票を必ず携行してください。
- (2) 試験開始 20 分前までに試験室に入室してください。
- (3) 受験に際して、机上には受験票、鉛筆、消しゴム、時計（計時機能だけのもの）、関数電卓（持参を指定した受験区分で特殊な機能がないもの）以外のものを置いてはいけません。
受験会場には、時計が設置されていません。計時機能だけのものを持参してください。
- (4) 学力検査に不要な携行品は、監督者の指示する場所に置いてください。
また、携帯電話等は、試験室に入る前にアラームの設定を解除し必ず電源を切ってかばん等に入れておいてください。
- (5) 提出書類については、出願手続後、内容の変更を認めません。
- (6) 応用数学を筆記試験で受験する場合、関数電卓の使用はできません。
- (7) 専攻によって出願先及び試験場等が異なるので注意してください。
なお、入学試験に関する照会は、次をお願いします。

[理学系]：基盤科学系専攻・地球圏生命物質科学系専攻
 山口大学理学部学務係 電話 (083) 933-5215
 [工学系]：機械工学系専攻・建設環境系専攻・化学系専攻・電気電子情報系専攻
 山口大学工学部学務課入試係 電話 (0836) 85-9009
 [農学系]：農学系専攻
 山口大学農学部学務係 電話 (083) 933-5811

IV 合格発表

● [理学系]：基盤科学系専攻・地球圏生命物質科学系専攻（吉田キャンパス）

平成 29 年 10 月入学	平成29年 8 月25日(金) 正午予定
平成 30 年 4 月入学（第 1 回）	平成29年 8 月25日(金) 正午予定
平成 30 年 4 月入学（第 2 回）	平成30年 1 月30日(火) 正午予定

山口大学理学部 1 号館玄関 掲示予定

● [工学系]：機械工学系専攻・建設環境系専攻・化学系専攻・電気電子情報系専攻（常盤キャンパス）

平成 29 年 10 月入学	平成29年 8 月28日(月) 正午予定
平成 30 年 4 月入学（第 1 回）	平成29年 8 月28日(月) 正午予定
平成 30 年 4 月入学（第 2 回）	平成30年 1 月17日(水) 正午予定

山口大学工学部本館前掲示板 掲示予定

● [農学系]：農学系専攻（吉田キャンパス）

平成 29 年 10 月入学	平成29年 8 月28日(月) 正午予定
平成 30 年 4 月入学（第 1 回）	平成29年 8 月28日(月) 正午予定
平成 30 年 4 月入学（第 2 回）	平成30年 2 月 2 日(金) 正午予定

山口大学農学部 掲示予定

* 本研究科では上記のとおり合格者を掲示するとともに、合格者には合格通知書を郵送します。
 なお、電話による照会には一切応じません。

社会人特別選抜

[理学系]

[工学系]

I 出願資格 []内は平成29年10月入学者対象

以下の1～7のいずれかの要件を満たし、かつ、要件を満たした後、平成30年3月〔平成29年9月〕末日までに1年以上各種の研究機関、教育機関、企業等に正規の職員として勤務又は勤務見込みの者は、希望により社会人特別選抜に出願することができます。

ただし、出願資格7により出願する者は、平成30年3月〔平成29年9月〕末日までに3年以上各種の研究機関、教育機関及び企業等に正規の職員として勤務している者は、希望により社会人特別選抜に出願することができます。

1. 大学を卒業した者
2. 学校教育法第104条第4項の規定により大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者
3. 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
4. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
5. 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
6. 文部科学大臣の指定した者（昭和28年2月7日文部省告示第5号）

（以下の出願資格7により出願を希望する者は、事前審査を受ける必要がありますので、31ページの「出願資格事前審査申請について」を参照してください。）

7. 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成30年3月〔平成29年9月〕末までに22歳に達する者

※出願希望者は、出願前（なるべく早い時期）に希望する専攻・コースの指導教員に相談すること。

II 出願手続等

1. 出願期間

● [理学系]：基盤科学系専攻・地球圏生命物質科学系専攻（吉田キャンパス）

平成29年10月入学	平成29年7月3日(月)～7月7日(金) 《17時15分 必着》
平成30年4月入学（第1回）	平成29年7月3日(月)～7月7日(金) 《17時15分 必着》
平成30年4月入学（第2回）	平成29年12月19日(火)～12月21日(木) 《17時15分 必着》

（備考）持参する場合は、上記出願期間中の9時から17時15分まで受け付けます。

● [工学系]：機械工学系専攻・建設環境系専攻・化学系専攻・電気電子情報系専攻（常盤キャンパス）

平成29年10月入学	平成29年7月3日(月)～7月5日(水) 《17時15分 必着》
平成30年4月入学（第1回）	平成29年7月10日(月)～7月13日(木) 《17時15分 必着》
平成30年4月入学（第2回）	平成29年11月20日(月)～11月24日(金) 《17時15分 必着》

（備考）持参する場合は、上記出願期間中の9時から17時15分まで受け付けます。

2. 出願書類等

入学志願票	本研究科所定の用紙（本募集要項とじ込み）に、必要事項を記入してください。
写真受検票	本研究科所定の用紙（本募集要項とじ込み）に、必要事項を記入してください。写真票の所定欄に、出願前3か月以内に撮影した上半身・無帽・正面向きの写真（4cm×3cm）をはってください。
卒業証明書	出身大学長（学部長）が作成したもの。（本学理学部・工学部卒業者は不要）

成績証明書	出身大学長（学部長）が作成し、厳封したもの。 （本学理学部・工学部卒業者は不要） 専攻科を修了した者は、専攻科の成績証明書と併せて、短期大学若しくは高等専門学校 の成績証明書も提出してください。
研究（希望） 計画書	本研究科所定の用紙（本募集要項とじ込み）に記入のうえ提出してください。また、 社会での活動状況を記載したもの（以下「業績報告書」という）（様式任意）を 提出してください。なお、「業績報告書」には研究論文、技術報告、特許及び実用 新案など具体的な活動状況を示す資料を添付してください。
受験承諾書	勤務先の受験承諾書（本募集要項とじ込み）を提出することが望ましい。
TOEIC 又は TOEFL スコアシート	<u>基盤科学系専攻（物理学コース・情報科学コース）、地球圏生命物質科学系専攻（地 球科学コース）の社会人特別選抜志願者は、TOEIC 又は TOEFL のスコアシート 及びそのコピーを提出してください。（オリジナルは、確認後返却します。）</u> スコアシートは、平成 26 年 4 月以降に受験したものが有効となります。 なお、TOEIC については、TOEIC 公開テストのスコアのみ、TOEFL については、 TOEFL-PBT、iBT、CBT が有効です。ただし、大学等において英語カリキュラム 制度の一環として TOEIC 又は TOEFL を受験している場合は、大学等における TOEIC-IP テスト（団体特別受験制度）又は TOEFL-ITP（団体向け TOEFL テストプログラム）のスコアも有効としますが、その場合は、 <u>TOEIC 又は TOEFL を 英語カリキュラム制度の一環として取り入れていることが分かるもの（履修の手引きの コピー等）を添付してください。</u>
検 定 料	30,000 円 本研究科所定の払込用紙（本募集要項とじ込み）に、必要事項を記入のうえ最寄 りの郵便局・ゆうちょ銀行で山口大学指定の口座に払い込んだ後、郵便局・ゆうちょ 銀行から受け取った振替払込受付証明書（お客さま用）を所定欄にはり付けてくだ さい。 なお、納入された検定料は、27 ページ 6. の検定料を返還請求できる場合を除き、い かなる理由があっても返還しません。
あて名票	本研究科所定の用紙（本募集要項とじ込み）に、必要事項を記入してください。
その他証明書	【出願資格 2 による出願者】 学士の学位を授与された者は、学位授与証明書。 【出願資格 5 による出願者】 出身学校長が発行する証明書（本募集要項とじ込み、出願資格 5 用）

※出願書類等については、本研究科入学者選抜において必要なため提出いただくものであり、これ
によって得た個人情報を、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律第 9 条に規定さ
れている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で使用又は第三者に提供すること
はありません。

3. 出 願 方 法

入学志願者は出願書類等を取りまとめ、「5. 提出先」へ提出してください。

出願書類を郵送する場合は、「速達書留」とし、封筒の表に「博士前期課程出願書類在中」と朱書
してください。

4. 志 望 方 法

(1) 志望専攻

志望は 1 専攻 1 コースに限ります。

ただし、指導教員毎に受け入れ人数に限りがあります。それを超えた場合、面接等により調
整することがあります。

(2) 入学志願票の記入について

ア.学系, 受験区分, 志望専攻・コース及び希望指導教員

山口大学大学院創成科学研究科博士前期課程案内(35ページ～)を参照のうえ, 志望学系, 受験区分, 専攻・コース及び希望指導教員名を必ず記入してください。

イ. 受験区分コード

基盤科学系専攻及び地球圏生命物質科学系専攻を志望する受験者は, 希望する指導教員と相談のうえ, 21ページの「2.一般選抜受験区分コード」の中から記入してください。

他の専攻を志望する受験者は, 教員の所属する受験区分により受験することとなります。志願票の受験区分コード欄は, 記入しないでください。受験区分コードは, 受験票により通知します。

5. 提 出 先

[理学系]: 基盤科学系専攻・地球圏生命物質科学系専攻

山口大学理学部学務係 電話(083)933-5215

[工学系]: 機械工学系専攻・建設環境系専攻・化学系専攻・電気電子情報系専攻

山口大学工学部学務課入試係 電話(0836)85-9009

6. 検定料の返還について

(1) 次に該当した場合は納入済みの検定料を返還します。

- ①検定料を納入済みであるが山口大学に出願しなかった場合
- ②検定料を誤って二重に納入した場合又は誤って所定の金額より多く納入した場合
- ③出願書類等を提出したが出願が受理されなかった場合

(2) 返還請求の方法

上記①又は②に該当した場合は, 下記の連絡先に連絡してください。連絡があった後に「検定料払戻請求書」を送付しますので, 必要事項を記入のうえ郵送してください。

また, 上記③の場合は, 出願書類返却の際に「検定料払戻請求書」を同封しますので, 必要事項を記入のうえ, 下記の連絡先に郵送してください。

連絡先 〒753-8511 山口市吉田1677-1 国立大学法人 山口大学財務部財務課 電話 083(933)-5098

Ⅲ 選 抜 方 法 等

学力検査, 口述試験及び学業成績を総合して判定します。

1. 学力検査等

(1) 学力検査

英語・・・筆記試験は課しません。

注1. 基盤科学系専攻(物理学コース・情報科学コース), 地球圏生命物質科学系専攻(地球科学コース)は, 筆記試験は行わず, 英語能力テスト(TOEICまたはTOEFL)のスコアにより評価します。TOEICとTOEFLのスコアは, TOEIC600点とTOEFL-PBT500点(CBT及びiBTについてはPBTのスコアに換算)をそれぞれ筆記試験100点満点の80点に換算して評価します。

換算式については, 別表1を参照してください。

注2. 基盤科学系専攻(数理科学コース), 地球圏生命物質科学系専攻(生物学コース・化学コース), その他の専攻では, 課しません。

別表1: 換算式

x: TOEIC又はTOEFLのスコア

y: 換算点(100点満点における評価点)

TOEIC		TOEFL	
$y = (2 \div 15) x$	$(0 \leq x \leq 600)$	$y = (8x - 2480) \div 19$	$(310 \leq x \leq 500)$
$y = (2x + 1920) \div 39$	$(600 < x \leq 990)$	$y = (20x + 4160) \div 177$	$(500 < x \leq 677)$
換算例		換算例	
x	y	x	y
300	40	400	38
450	60	450	59
600	80	500	80
800	90	600	91

(2) 口述試験

[理学系]：基盤科学系専攻・地球圏生命物質科学系専攻

志望する専攻の専門科目、業績報告書及び研究（希望）計画書の内容について口述試験を行います。

[工学系]：機械工学系専攻・建設環境系専攻・化学系専攻・電気電子情報系専攻

英語能力、志望する専攻の専門科目、業績報告書及び研究（希望）計画書の内容について口述試験を行います。

2. 受験区分コード

社会人特別選抜は、受験票に記載された受験区分コードでの受験となります。

3. 選 抜 期 日

ア. 平成 29 年 10 月入学

学系	専 攻 名	期 日	試験科目	時 間
理学系	基盤科学系専攻 地球圏生命物質科学系専攻	平成 29 年 8 月 7 日（月）	口述試験	9 時 00 分 ～
工学系	機械工学系専攻 建設環境系専攻 化学系専攻 電気電子情報系専攻	平成 29 年 8 月 9 日（水）	口述試験	16 時 15 分 ～

イ. 平成 30 年 4 月入学（第 1 回）

学系	専 攻 名	期 日	試験科目	時 間
理学系	基盤科学系専攻 地球圏生命物質科学系専攻	平成 29 年 8 月 7 日（月）	口述試験	9 時 00 分 ～
工学系	機械工学系専攻 建設環境系専攻 化学系専攻 電気電子情報系専攻	平成 29 年 8 月 9 日（水）	口述試験	16 時 15 分 ～

ウ. 平成 30 年 4 月入学（第 2 回）

学系	専 攻 名	期 日	試験科目	時 間
理学系	基盤科学系専攻 地球圏生命物質科学系専攻	平成 30 年 1 月 17 日（水）	口述試験	9 時 00 分 ～
工学系	機械工学系専攻 建設環境系専攻 化学系専攻 電気電子情報系専攻	平成 29 年 12 月 15 日（金）	口述試験	16 時 15 分 ～

4. 試 験 場

[理学系]：基盤科学系専攻・地球圏生命物質科学系専攻
山口大学理学部 山口市吉田 1677-1

[工学系]：機械工学系専攻・建設環境系専攻・化学系専攻・電気電子情報系専攻
山口大学工学部 宇部市常盤台2丁目16-1

裏表紙の案内図を参照してください。

5. 注 意 事 項

1. 受験の際に、受験票を必ず携行してください。
2. 試験開始 20 分前までに試験室に入室してください。
3. 受験に際して、机上には受験票、鉛筆、消しゴム、時計（計時機能だけのもの）以外のものを置いてはいけません。
受験会場には、時計が設置されていません。計時機能だけのものを持参してください。
4. 学力検査に不要な携行品は、監督者の指示する場所に置いてください。
また、携帯電話等は、試験室に入る前にアラームの設定を解除し必ず電源を切ってかばん等に入れておいてください。
5. 提出書類については、出願手続後、内容の変更を認めません。
6. 志願する専攻によって、出願先及び試験場等が異なるので注意してください。
なお、入学試験に関する照会は、次にお願います。

[理学系]：基盤科学系専攻・地球圏生命物質科学系専攻
山口大学理学部学務係 電話 (083) 933-5215

[工学系]：機械工学系専攻・建設環境系専攻・化学系専攻・電気電子情報系専攻
山口大学工学部学務課入試係 電話 (0836) 85-9009

IV 合 格 発 表

[理学系]：基盤科学系専攻・地球圏生命物質科学系専攻（吉田キャンパス）

平成 29 年 10 月入学	平成 29 年 8 月 25 日（金）正午予定
平成 30 年 4 月入学（第 1 回）	平成 29 年 8 月 25 日（金）正午予定
平成 30 年 4 月入学（第 2 回）	平成 30 年 1 月 30 日（火）正午予定

山口大学理学部 1 号館玄関 掲示予定

[工学系]：機械工学系専攻・建設環境系専攻・化学系専攻・電気電子情報系専攻（常盤キャンパス）

平成 29 年 10 月入学	平成 29 年 8 月 28 日（月）正午予定
平成 30 年 4 月入学（第 1 回）	平成 29 年 8 月 28 日（月）正午予定
平成 30 年 4 月入学（第 2 回）	平成 30 年 1 月 17 日（水）正午予定

山口大学工学部本館前掲示板 掲示予定

*本研究科では上記のとおり合格者を掲示するとともに、合格者には合格通知書を郵送します。
なお、電話による照会には一切応じません。

共 通 事 項

I 入学手続

1. 入学手続期間及び入学手続書類の提出先について

各学系の合格者は、次の期間内に該当する提出先で入学手続を完了するようにしてください。

入学の時期	学系	提出先	手続期間
平成29年10月	理学系	理学部学務係	平成29年9月4日(月)～9月6日(水) 《17時15分まで》
	工学系	工学部学務課入試係	
	農学系	農学部学務係	
平成30年4月	理学系	理学部学務係	平成30年2月27日(火)～3月2日(金) 《17時15分まで》
	工学系	工学部学務課入試係	
	農学系	農学部学務係	

※入学手続き関係書類は、平成29年10月入学者に対しては平成29年8月下旬に、平成30年4月入学者に対しては、平成30年2月中旬に送付します。

2. 入学時に要する経費

(1) 入学料及び授業料

入学料（入学手続時納付）	282,000円（予定額）
授業料（入学後納付）	前期分 267,900円（予定額） 後期分 267,900円（予定額）

注1. 本募集要項公表後、平成30年度入学者に係る入学料、授業料の改定を本学として決定した場合は、改定後の額となります。また、既に納入されていた場合は改定額との差額を納入していただくことになります。

2. 在学中の授業料の納付は、自動払込利用申込書に基づき、前期分は5月末日、後期分は11月末日（末日が土・日の場合は、その前の平日）に学生（または学資負担者）名義の口座から自動的に引き落とし大学に納付することになります。引落日の前日までに必ず入金しておいてください。

3. 授業料は、在学中に授業料改定を行った場合、新授業料を適用します。

4. 入学手続を行った者が入学を辞退したときは、納付済の入学料はいかなる理由があっても返還しません。

(2) 諸経費

学生健康保険組合	4,000円
学生教育研究災害傷害保険料	2,430円（学生教育研究賠償責任保険を含みます。）

(3) 後援会費、同窓会費

[理学系]：基盤科学系専攻・地球圏生命物質科学系専攻

教育後援会費 11,000円（ただし、山口大学理学部出身者については、このうち入会金3,000円を免除します。）

理学部同窓会（鴻理会）費 15,000円（ただし、山口大学理学部出身者で既に納めている者は不要です。）

[工学系]：機械工学系専攻・建設環境系専攻・化学系専攻・電気電子情報系専攻

教育後援会費 10,000円
工学部同窓会（常盤工業会）費 100,000円（終身会費）

（工学部同窓会（常盤工業会）費を既に納めている者は、不要です。）

[農学系]：農学系専攻

教育後援会費 25,000円（ただし、山口大学農学部出身者については、15,000円。）

同窓会費 10,000円（山口大学農学部出身者以外対象）

3. 入学料及び授業料免除について

入学料及び授業料の納付が困難な者に対しては、それぞれ免除する制度があります。この制度により、入学料及び授業料の免除を希望する者は、下記へ問い合わせください。

・山口大学学生支援部学生支援課学生サービス係

山口市吉田1677-1 電話 (083) 933-5611

・山口大学工学部学務課学生係
宇部市常盤台2丁目16-1 電話(0836)85-9011

II 障害等のある入学志願者の事前相談

身体に障害等のある入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする場合は、対応を事前に協議しますので、希望する対応を記載した相談書を18ページ「II. 出願手続等5. 提出先」へ次のとおり提出のうえ、相談してください。

(1) 相談書に記載する内容

- ① 氏名, 生年月日, 性別 ② 郵便番号, 住所, 電話番号 ③ 最終出身学校名
④ 志望専攻名, 希望指導教員氏名 ⑤ 障害の種類・程度 ⑥ 受験上希望する具体的対応
⑦ 修学上希望する具体的対応 ⑧ 最終出身学校における生活状況等(主として授業関係)
⑨ その他 ⑩ 添付書類(医師の診断書, 身体障害者手帳(写)(交付を受けている者)),
その他相談する際に必要と思われる参考資料

(2) 相談書の提出期限

入 試 区 分	該当学系	提 出 期 限
平成29年10月入学(一般等)	全学系	平成29年6月9日(金)
平成30年4月入学(推薦入試)	理学系	平成29年5月17日(水)
平成30年4月入学(口述試験)	工学系	平成29年6月16日(金)
平成30年4月入学(第1回)	理学系	平成29年6月2日(金)
平成30年4月入学(第1回)	工・農学系	平成29年6月9日(金)
平成30年4月入学(第2回)	理学系	平成29年11月17日(金)
	工学系	平成29年10月6日(金)
	農学系	平成29年12月1日(金)

III 出願資格事前審査申請について(出願資格9, 10及び11に関わる認定について)

1. 出願資格 [] 内は平成29年10月入学対象

(1) 一般選抜の出願資格9について

学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたものとします。(大学に3年以上在学し、所定の単位を優れた成績をもって修得したことにより、所定の修業年限未滿で大学院に入学した者が、その後に本研究科に入学しようとする場合が該当します。)

提出書類

- ・入学試験出願資格事前審査申請書(本研究科所定の用紙(本募集要項とじ込み))
- ・入学試験出願資格審査調書(本研究科所定の用紙(本募集要項とじ込み))
- ・在籍した最終大学の在籍期間証明書及び成績証明書
- ・在籍大学院研究科の在学証明書及び成績証明書
- ・返信用封筒(長形3号封筒に、本人の住所・氏名・郵便番号を明記し、82円切手をはったもの)

(2) 一般選抜の出願資格10及び社会人特別選抜の出願資格7について

本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成30年3月末[平成29年9月末]までに22歳に達するもの。(短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者やその他教育施設の修了者で3年以上社会人として企業、各種機関等で卒業論文に相当する研究あるいは実務に従事した者が該当します。)

提出書類

- ・入学試験出願資格事前審査申請書(本研究科所定の用紙(本募集要項とじ込み))
 - ・入学試験出願資格審査調書(本研究科所定の用紙(本募集要項とじ込み))
 - ・最終出身学校の卒業(修了)証明書
 - ・研究発表、技術報告、特許及び実用新案など具体的な活動状況を示す資料及びこれらに相当する参考資料があれば添付してください。
- また、基盤科学系専攻・地球圏生命物質科学系専攻を志望する者で、職歴がある場合は業務従

事証明書（事業所・研究所長等が発行したもので業務内容がわかるもの。（様式任意））を添付してください。

なお、必要に応じ、面接を行うことがあります。その場合は事前に通知します。

・返信用封筒（長形3号封筒に、本人の住所・氏名・郵便番号を明記し、82円切手をはったもの）

(3) 一般選抜の出願資格11について

平成30年3月末日〔平成29年9月末日〕で大学に3年以上在学し、本研究科の事前審査により、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者としてします。（出願時において大学の3年次に在学し、当該年度の3月31日〔9月30日〕で在学年数が3年に達する者及び大学院の修学に必要な基礎的な授業科目の単位を全て修得しており、修得した専門科目の成績が特に優秀である者が該当します。）

なお、学部3年次生を対象とする特別選抜に関する募集については、別に定める募集要項「学部3年次生を対象とする特別選抜」を参照してください。

2. 事前審査受付期間

(1) 平成29年10月入学

[理学系・工学系・農学系]：平成29年6月12日（月）～6月14日（水）《17時15分 必着》

(2) 平成30年4月入学（第1回）

[理学系]：平成29年6月12日（月）～6月14日（水）《17時15分 必着》

[工学系]：平成29年6月14日（水）～6月16日（金）《17時15分 必着》

[農学系]：平成29年6月14日（水）～6月16日（金）《17時15分 必着》

(3) 平成30年4月入学（第2回）

[理学系]：平成29年12月4日（月）～12月6日（水）《17時15分 必着》

[工学系]：平成29年10月11日（水）～10月13日（金）《17時15分 必着》

[農学系]：平成29年11月15日（水）～11月17日（金）《17時15分 必着》

（郵送の場合は書留とし、封筒表面に「出願資格事前審査申請書在中」と朱書きしてください。）

3. 提出先

[理学系]：山口大学理学部学務係

〒753-8512 山口市吉田1 6 7 7 - 1

電話 (083) 933-5215

[工学系]：山口大学工学部学務課入試係

〒755-8611 宇部市常盤台2丁目1 6 - 1

電話 (0836) 85-9009

[農学系]：山口大学農学部学務係

〒753-8512 山口市吉田1 6 7 7 - 1

電話 (083) 933-5811

4. 結果の通知

(1) 平成29年10月入学

[理学系]：平成29年6月23日（金）までに通知

[工学系]：平成29年6月30日（金）までに通知

[農学系]：平成29年6月30日（金）までに通知

(2) 平成30年4月入学（第1回）

[理学系]：平成29年6月23日（金）までに通知

[工学系]：平成29年6月30日（金）までに通知

[農学系]：平成29年6月30日（金）までに通知

(3) 平成 30 年 4 月入学（第 2 回）

[理学系]：平成 29 年 12 月 15 日（金）までに通知

[工学系]：平成 29 年 11 月 9 日（木）までに通知

[農学系]：平成 29 年 12 月 8 日（金）までに通知

5. 出願手続

事前審査により出願を認められた者は、所定の出願手続を行ってください。

IV. 大学院設置基準第 14 条に定める教育方法の特例について

1. 趣旨

近年、科学技術の進歩に伴い、大学院における社会人技術者、教育者、研究者、の再教育への要望が高まっています。しかし、通常の教育方法のみで大学教育を実施した場合、社会人は最低2年間その勤務を離れて修学する必要があるため、大学教育を受ける機会が制約されがちです。

このため、大学院設置基準第 14 条では、「修士課程においては、教育上特例の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」旨指定されて、社会人技術者、教育者、研究者の修学に特別措置を行うことができるよう配慮がなされています。

これを踏まえ、本学大学院創成科学研究科では、大学院での履修を希望する社会人技術者、教育者、研究者に対し大学院設置基準第 14 条に定める特例による教育を実施します。

山口大学大学院創成科学研究科 博士前期課程案内

山口大学大学院創成科学研究科博士前期課程案内

科学技術の高度化と多様化に対応して学問がますます専門化していく一方、従来の学問体系にみられない新しい境界領域と学問領域が開拓され科学技術の総合化が進められています。

本大学院創成科学研究科は、このような学問の高度化と総合化に幅広く柔軟に対応し得る研究者・技術者を養成するために、多様な教育研究体制を準備しています。所属以外の専攻の授業科目も履修するように指導するだけでなく、他研究科の履修も可能です。

本大学院創成科学研究科博士前期課程の専攻・コース及び研究内容は、別記のとおりです。入学後は、特定の専攻・コースに所属し、指導教員の下で研究を行うことになります。次ページ以降の案内を参考に志望専攻・コース及び指導教員を選定してください。

(博士前期課程)

基盤科学系専攻 [Division of Fundamental Sciences]

コース	研究内容	教員名
数 理 科 学 コ ー ス	リーマン面論, 等角写像論, タイヒミュラー空間論, 解析的整数論, フーリエ解析, 偏微分方程式論	教 授 増本 誠
		教 授 木内 功
		教 授 廣澤 史彦
		准教授 幡谷 泰史
	環論・可換環論, 加群論, 数論	教 授 菊政 勲
		准教授 倉富 要輔
		准教授 大関 一秀
		講 師 南出 真
	多様体の幾何学, 幾何解析, 多様体上の変分問題, 測地線論	教 授 中内 伸光
		准教授 近藤 慶
	位相幾何学, 結び目理論, リー群, 同変トポロジー	教 授 宮澤 康行
		准教授 鍛冶 静雄
	理工学に現れる群など代数構造とその表現に関する研究	教 授 池田 敏春
解析関数の covering properties の研究	教 授 柳原 宏	
偏微分方程式の数学解析	准教授 岡田 真理	
流体力学や電磁気学への数学的アプローチ	准教授 西山 高弘	
解析的な一変数複素関数の基本的・応用的な性質に関する研究	講 師 堀田 一敬	
物 理 学 コ ー ス	長鎖分子系・高分子の構造と相転移に関する研究	教 授 野崎 浩二
	溶液, ソフトマター中の有機分子の構造と物性及び電子状態に関する研究	助 教 堀川 裕加
	強相関電子系化合物の磁性, 伝導特性, 相転移に関する研究	講 師 藤原 哲也
	強誘電体・強弾性体及びその関連物質の構造と物性及び相転移に関する研究	教 授 朝日 孝尚
		准教授 笠野 裕修
	電磁信号解析的手法による宇宙物理学の観測的研究	教 授 藤澤 健太 (時間学研究所)
		准教授 新沼浩太郎
		助 教 元木 業人
	素粒子論的初期宇宙論の研究, 場の理論による多粒子相互作用系の解析	教 授 白石 清
宇宙の構造進化とブラックホールに関する理論的研究	教 授 坂井 伸之	
宇宙論および重力理論の検証に関する理論的研究	助 教 齊藤 遼	
情 報 科 学 コ ー ス	知的信号画像解析及びシステムモデリングに関する教育研究	教 授 内野 英治
	高次脳機能の理論的研究, 生体の運動やスキルに関する情報論的研究	教 授 西井 淳
	無線LANシステムの応用及びシミュレーションによる生命システムの理解	教 授 松野 浩嗣
	人間や生体の視覚機能及び情報処理機能に学んだ知的画像処理に関する研究	教 授 末竹 規哲
	生体分子系におけるコンピュータシミュレーション	准教授 浦上 直人
	情報処理に関する数理モデルの理論的研究	准教授 川村 正樹
	機械学習・統計的データ解析と知能画像処理システムに関する研究	准教授 韓 先花
	誤り訂正符号に関する理論と応用及び通信システムと情報数理論に関する研究	講 師 野崎 隆之
	バイオリジカルネットワークのロジカルモデリングとシミュレーション	助 教 Adrien Fauré

(博士前期課程)

地球圏生命物質科学系専攻 [Division of Earth Science, Biology, and Chemistry]

コース	研究内容	教員名
生物学コース	真核細胞の細胞内小器官の構造と動態に関する研究	教授 宮川 勇
	体内時計分子メカニズム研究と時間医学的应用研究	教授 明石 真 (時間学研究所)
	原生生物の行動と繊毛機能に関する研究	准教授 堀 学
	細胞運動・分裂の分子機構の研究	教授 祐村 恵彦
	細胞運動の光学顕微鏡を用いた研究	准教授 岩楯 好昭
	微細藻類の環境応答・代謝に関する研究	准教授 三角 修己
	動物の受精と初期発生における分子機構の研究	教授 岩尾 康宏
	ショウジョウバエ胚発生メカニズムの研究	教授 村上柳太郎
	昆虫の環境適応と表現型可塑性に関する生理代謝機構の研究	教授 山中 明
	ツメガエル初期胚の細胞周期とオルガネラ形成の研究	准教授 上野 秀一
	植物の環境応答・シグナル伝達機構の研究	准教授 武宮 淳史
	昆虫の行動, 形態, 生活史の進化に関する研究	助教 小島 渉
化学コース	光励起や電子移動等を用いる新規有機化学反応の開発・制御および機能性材料への応用に関する教育と研究	教授 石黒 勝也
	新規有機化合物の合成と物性に関する教育と研究	准教授 藤井 寛之
	分子集合体・分子性結晶の構造と物性に関する研究	准教授 綱島 亮
	有機化合物を中心とした光機能物質の研究	教授 川俣 純
	分子の電子構造と物性に関する研究	准教授 谷 誠治
	低次元化合物を用いた機能性材料の開発	准教授 鈴木 康孝
	固体表面における物理物性と電気化学的反応性からの教育と研究	教授 本多 謙介
	機能性炭素材料の創製とその応用に関する研究	助教 楯木野 宏
	光機能性無機材料の物性および反応性の研究	教授 山崎 鈴子
	バルク・界面・表面における分子集合体に関する研究	准教授 安達 健太
	無機・有機媒体への物質の吸着に関する教育と研究	准教授 村上 良子
	分子認識能を有する機能性高分子に関する教育と研究	准教授 藤原 勇
典型元素と非交互共役系の電子特性を活かした有機分子の研究	教授 村藤 俊宏	
高効率な有機合成を指向した新規分子変換法の開発に関する研究と開発	准教授 上條 真	
地球科学コース	東アジア地域の火成岩類の岩石学, 同位体地球化学ならびに年代学的研究	教授 今岡 照喜
	地球・惑星構成鉱物における遷移金属と水素の存在状態・結晶構造・物性の系統的解明に関する研究	准教授 永寫真理子
	新生代島弧火山活動に関する多様な熱水鉱床の形成メカニズムに関連する研究	准教授 澤井 長雄
	物理化学条件の変化に伴う鉱物物質の生成と分解に関する研究	准教授 阿部 利弥
	変動帯に産するマグマの成因と地殻-マントル相互作用の解析	教授 大和田正明
	変成岩に関わる温度-圧力とテクトニクスの解析	教授 志村 俊昭
	陸域及び海域の付加体地質学と海溝型地震学	教授 坂口 有人
	堆積過程および未固結堆積物の変形に関する研究	教授 宮田雄一郎
	アジアの古生代-中生代付加テクトニクスに関する研究	教授 脇田 浩二
	海洋底での堆積, 圧密, 付加, 崩壊プロセスに関する研究	准教授 川村喜一郎
地質災害の発生機構と地盤・地下水環境解析に関する研究	准教授 太田 岳洋	
地殻構成岩石の物性測定と変形機構に関する研究	講師 大橋 聖和	

(博士前期課程)

機械工学系専攻 [Division of Mechanical Engineering]

コース	研究内容	教員名
応用 医 工 学 コ ー ス	動的システムの解析・評価モデルおよび計測・制御に関する教育と研究	教授 齊藤 俊
	非線形有限要素法, 生体力学シミュレーション及び医療への応用に関する教育と研究	教授 陳 献
	医療機器・福祉機器のインタフェースデザインの設計と評価に関する教育と研究	教授 森川 治
	生体内力学解析, 生体・医療材料の力学特性評価に関する教育と研究	准教授 大木 順司
	超音波などを使った生体測定と数値計算を用いた医療機器の設計に関する教育と研究	准教授 森 浩二
航 空 宇 宙 エ ネ ル ギ ー コ ー ス	生体や無機・有機マイクロ粒子体の表面, 装置機械での熱物質移動現象の特性解明と数値解析に関する教育と研究	教授 加藤 泰生
	混相流の輸送特性, 気体および固体における熱・物質移動と熱焼反応, エネルギースystem解析・生産プロセス解析に関する教育と研究	教授 西村 龍夫
	エンジンの燃焼・排気・騒音特性, 噴霧・液滴群・マイクロ燃焼, 消音器の消音特性に関する教育と研究	教授 三上 真人
	産業界や実社会への活用を目指した境界層や噴流などの基本的な流れの解明と制御に関する教育と研究	教授 望月 信介
	人工衛星からのリモートセンシング技術, 処理アルゴリズム, および地球環境監視への応用に関する教育と研究	准教授 今岡 啓治 (メディア基盤センター)
	宇宙船の大気圏突入技術と加熱環境, ビームや電磁気を推進力とするロケット・宇宙推進器などの先端的宇宙輸送・推進工学に関する教育と研究	准教授 葛山 浩
	内燃機関における点火・燃焼現象, 液体燃料の微粒化および噴霧燃焼に関する教育と研究	准教授 瀬尾 健彦
	熱 CVD 法による薄膜生成, 燃焼反応による微粒子生成, 木質バイオマスからの燃料生成に関する研究	准教授 田之上健一郎
メ カ ノ シ ス テ ム デ ザ イ ン コ ー ス	計測法および高速高精度状態推定手法, 非線形システムの計測制御手法に関する教育と研究	教授 小河原加久治
	センサ・アクチュエータの構造と機能を力学的に研究し工学から医学まで様々な分野に応用するスマートメカトロニクスシステムに関する教育と研究	教授 江 鐘偉
	材料の変形・強度解析, 信頼性解析に関する教育と研究	教授 合田 公一
	微小な世界の物理現象や生体の微細構造・機能に着目して, 生体に適した微小機械の設計・試作, 試作に必要な微細加工技術の開発, および微小機械による生体や細胞の特性の解明・操作, 医療への応用などに関する教育と研究	教授 南 和幸
	事業戦略立案から計算機による高度解析を駆使した最適設計に至る, 機械システム設計における一連の理論と支援方法に関する教育と研究	准教授 古賀 毅
	胎児, 小児, 成体, 高齢までのこころの健やかな生涯発達を支援する精神生物学的検証に基づく包括環境見守り・育み技術開発研究	准教授 小柴満美子
	人間・機械システムに関する諸問題, システムインテグレーションと制御系設計論に関する教育と研究	准教授 藤井 文武
医療用センサ・アクチュエータのシミュレーションおよび実験による設計・開発に関する研究	准教授 森田 実	

(博士前期課程)

建設環境系専攻 [Division of Construction and Environmental Engineering]

コース	研究内容	教員名
社会建設工学コース	耐候性鋼橋梁を中心とした鋼橋の腐食と維持管理に関する研究	教授 麻生 稔彦
	衛星リモートセンシング技術の水管理及び防災リスク評価への応用と国際展開	教授 今村 能之
	都市や地域の活動を支える社会基盤を計画的に整備・マネジメントするための研究	教授 榊原 弘之
	岩盤構造物の合理的な設計・建設・維持管理手法に関する教育と研究	教授 清水 則一
	土質材料の力学特性および地盤工学の数値解析に関する研究	教授 中田 幸男
	自然界の流れや物質輸送に関する基礎的研究とそのエネルギー利用, 水環境改善, 水害問題への応用	教授 羽田野 袈裟義
	河川・流域における自然環境・防災に関わる教育と研究	准教授 赤松 良久
	未利用資源のコンクリート材料としての活用とその高性能化に関する研究	准教授 高海 克彦
	環境性能・防災性能・維持管理性能に優れた道路構造に関する教育と研究	准教授 中島伸一郎
	環境共生都市実現のための技術開発および豊かな水環境の保全に関する教育と研究	准教授 山本 浩一
	地盤工学における資源の開発と有効利用に関する教育と研究	准教授 吉本 憲正
橋梁構造物の耐震設計の高度化および構造物の維持管理に関する研究	准教授 渡邊 学歩	
国際建設技術コース	水理学に関する基礎的研究とその防災および環境問題への応用	教授 朝位 孝二
	地下構造物のより合理的な設計理論および施工法に関する教育と研究	教授 進士 正人
	地震ならびに降雨時の地盤の諸性質の評価と設計法についての教育と研究	教授 鈴木 素之
	環境共生社会実現のための技術開発および豊かな自然環境の保全に関する教育と研究	教授 関根 雅彦
	自然災害で汚染された土壌の微生物による浄化に関する研究	准教授 Md.Azizul Moqsud
	態度・行動分析を基盤とした都市・地域計画に関する教育と研究	准教授 鈴木 春菜
	土構造物の設計・施工・維持管理に関する教育と研究	准教授 森 啓年
	セメント系材料・複合材料による合成構造の設計理論と施工法に関する教育と研究	准教授 吉武 勇
	種々の地盤材料の性質とその評価に関する教育と研究	講師 原 弘行
環境システム工学コース	循環型社会実現のための, 有用資源の再生技術, 廃水処理・廃棄物処理技術, リサイクルシステムに関する教育と研究	教授 今井 剛
	環境修復, 資源循環および分離技術に関する教育と研究	教授 新苗 正和
	宇宙インフラ (地球観測衛星・測位衛星・通信衛星を中心とした宇宙技術) を活用して得られる膨大な空間・地理データの解析および手法に関する教育と研究	准教授 長井 正彦
	環境汚染の評価・制御および廃棄物管理に関する教育と研究	准教授 樋口 隆哉
	環境修復, 資源循環および分離技術に関する教育と研究	准教授 鈴木 祐麻
建築学コース	都市・建築空間を中心とした企画・計画および設計に関する教育研究	教授 鷗 心治
	建築物の構造性能, 耐震性能の評価に関する研究および合理的な建築構造システムの開発	教授 稲井 栄一
	歴史・経済・文化との相関関係をふまえた空間デザインの実践的理論と手法に関する教育研究	教授 内田 文雄
	屋内や屋外の温熱環境の評価と最適設計並びに環境共生型建築設備の研究開発	教授 小金井 真
	都市・建築空間を中心とした企画・計画および設計に関する教育研究	教授 中園 真人
	環境負荷削減のための建築鋼構造に関する研究およびハイブリッド構造システムの開発	教授 藤田 正則
	建築材料の性能評価・解析的予測法および環境配慮型選択・設計法の研究開発	教授 李 柱国
	地震時の人的被害・住宅被害予測及び防災対策の最適化に関する研究	准教授 村上ひとみ
	建築物の構造性能, 耐震性能の評価に関する研究および合理的な建築構造システムの開発	講師 秋田 知芳
都市・建築空間を中心とした企画・計画および設計に関する教育研究	講師 孔 相権	

(博士前期課程)

化学系専攻 [Division of Applied Chemistry]

コース	研究内容	教員名
物質化学コース	有機エレクトロニクスデバイスに適用できる新規材料を有機化学的手法を用いて合成し、それを用いたデバイスの作製と評価に関する教育と研究	教授 鬼村謙二郎
	蛍光材料など有機光機能材料の開発と物性に関する研究	教授 笠谷 和男
	機能性結晶の育成と応用および結晶成長機構に関する教育と研究	教授 小松 隆一
	エネルギーの創製, 物質の効率的変換や環境保全などを担う触媒合成とその機能解明に関する教育と研究	教授 酒多 喜久
	無機および無機-有機複合材料の合成とエネルギー・環境応用に関する教育と研究	教授 中山 雅晴
	電気化学反応を利用した分析などに関する教育と研究	教授 吉本 信子
	有機ゲル化剤や液晶材料など有機機能性材料の合成と応用に関する教育と研究	准教授 岡本 浩明
	機能性無機材料の固体化学および結晶構造と物性の相関に関する教育と研究	准教授 中塚 晃彦
	機能性電解質溶液・ゲルの熱力学および構造化学と環境調和型材料への展開研究	准教授 藤井 健太
	高機能セラミックスの開発とスペクトロスコピー	准教授 藤森 宏高
生命化学コース	食・エネルギー・医療へ貢献するための遺伝子工学技術開発と遺伝子機能解析に関する教育と研究	教授 赤田 倫治
	ラジカル化学をベースとした有機合成化学の研究とそれを用いた生理活性物質合成やグリーン化学の研究	教授 上村 明男
	新規機能高分子材料の合成とその医療材料, 電子材料等への応用および, 電界紡糸法によるナノファイバーの調製とその応用に関する教育と研究	教授 堤 宏守
	バイオ, メディカルあるいは食品プロセスの解析・開発のための生物化学工学および生物分離工学に立脚した教育と研究	教授 山本 修一
	金属触媒を利用する新しい有機合成反応開発のための教育と研究	准教授 西形 孝司
	食・エネルギー・医療へ貢献するための生物工学技術開発と生命機能解析に関する教育と研究	准教授 星田 尚司
環境化学・化学工学コース	バイオ, メディカルあるいは食品プロセスの解析・開発のための生物化学工学および生物反応工学に立脚した教育と研究	准教授 吉本 誠
	化学プロセスの高効率化, 最適化, 省エネルギー化について, 移動現象とプロセス設計の立場からの教育と研究	教授 佐伯 隆
	水環境保全やライフサイエンスに関わる濾過分離機構の理解, および濾過プロセス設計に関する教育と研究	教授 中倉 英雄
	分離膜, 機能性ゲル, 固体高分子電解質などの機能性高分子材料と, これを応用した省エネルギー分離プロセスに関する教育と研究	教授 比嘉 充
	計算化学的および情報化学的手法を用いた合成経路開発と環境化学に関する教育と研究	教授 堀 憲次
	化学プロセスにおける環境汚染物質の除去・低減技術に関する教育と研究	准教授 小淵 茂寿
	計算化学による触媒反応の反応機構探索と新規機能性材料の分子設計および開発に関する教育と研究	准教授 隅本 倫徳
	化学物質の省資源・省エネルギー的な製造プロセスの開発と応用, および高機能・高性能材料の開発と応用に関する教育と研究	准教授 田中 一宏
	生体触媒を利用した環境調和型化学プロセスの設計と機能性材料の開発に関する教育と研究	准教授 通阪 栄一
	触媒反応を利用した機能性有機化合物, 光学活性化合物の合成と機能性有機材料の開発とに関する教育と研究	准教授 山本 豪紀
機能性薄膜の製膜, 及び, エネルギー・化学品製造や環境負荷低減への応用に関する教育と研究	准教授 熊切 泉	
高分子電解質膜などの高分子材料を用いた電気化学反応プロセスに関する教育と研究	講師 遠藤 宣隆	

(博士前期課程)

電気電子情報系専攻 [Division of Electrical, Electronic and Information Engineering]

コース	研究内容	教員名
電子デバイス工学コース	スピントロニクス材料および微細加工を用いた磁性デバイス応用に関する研究	教授 浅田 裕法
	イオン性プラズマの生成とその物性解明に関する研究	教授 大原 渡
	熱電変換材料やスピントロニクス材料など、新しい機能性材料の開発研究	教授 小柳 剛
	化合物半導体（特に窒化物半導体）を使った量子デバイス構造の結晶成長技術、およびデバイス作製のプロセス技術に関する研究	教授 只友 一行
	レーザ分光法を利用したワイドギャップ半導体およびその低次元量子構造における光物理現象の解明と光機能性に関する研究	教授 山田 陽一
	微細構造制御及び計算物性手法による通信・記録・エネルギー変換用電子デバイスの開発	教授 山本 節夫
	化合物半導体を使った光・電子半導体デバイスの設計、実装、評価技術とそのアプリケーションに関する研究	教授 横川 俊哉
	微細構造制御及び計算物性手法による通信・記録・エネルギー変換用電子デバイスの開発	准教授 赤井 光治 (国際総合科学部)
	様々な材料の基礎物性のコンピュータ・シミュレーションによる研究、及びアモルファス半導体材料の光学的性質に関する研究	准教授 荻原 千聡
	ワイドギャップ結晶材料の格子欠陥と不純物中心の物性及び機能性制御、界面における物理化学反応に関する研究	准教授 甲斐 綾子
	真空の科学と工学、先端デバイス製造用真空装置の開発に関する研究	准教授 栗巢 普揮
	様々な材料の基礎物性のコンピュータ・シミュレーションによる研究、及びアモルファス半導体材料の光学的性質に関する研究	准教授 仙田 康浩
	金属系超伝導体や酸化物超伝導体を用いた線材の開発や超伝導コイルの設計・応用に関する研究	准教授 原田 直幸
	非線形現象の統計物理学的研究：階層構造の観点からのアプローチ	講師 鳴海 孝之
電子システム工学コース	マイクロ波・ミリ波分野における新機能デバイス、メタマテリアルの開発・設計に関する研究	教授 久保 洋
	パワーラインコンディショナ、LED 用高効率電力変換システム、大規模防災対応ユビキタス電源へのパワーエレクトロニクスの応用などの電力変換システムとその応用に関する研究	教授 田中 俊彦
	知能化計測およびシステム工学の理論と応用に関する研究	准教授 西藤 聖二
	高効率無線電力伝送システムの開発、並びに媒質内における電磁界解析とその光・マイクロ波デバイスへの応用に関する研究	准教授 堀田 昌志
	知能化計測およびシステム工学の理論と応用に関する研究	准教授 若佐 裕治
	制御工学の理論およびその応用に関する教育と研究	講師 中島 翔太
	パワーラインコンディショナ、LED 用高効率電力変換システム、大規模防災対応ユビキタス電源へのパワーエレクトロニクスの応用などの電力変換システムとその応用に関する研究	講師 山田 洋明

(博士前期課程)

電気電子情報系専攻 [Division of Electrical, Electronic and Information Engineering]

コース	研究内容	教員名
知能情報メディア工学コース	CT や MR 画像などの医用画像から診断に必要な情報を取り出して、医師の診断を支援するコンピュータ支援診断に関する教育と研究	教授 木戸 尚治
	コンピュータグラフィックスによる画像生成とバーチャルリアリティ等の応用システム開発に関する研究	教授 多田村克己
	統計的パターン認識に基づくバイオインフォマティクスに関する研究	教授 浜本 義彦
	非線形科学や視覚心理学的手法に基づく人の視知覚の理解と、その画像処理、映像表現技術への応用に関する研究	准教授 長 篤志
	情報メディアコンテンツのデザイン技法に関連するデザイン心理、デザイン教育に関する研究	准教授 木下 武志
	人間の聴覚情報処理機構に基づいた音環境の計測・予測・評価および制御に関する研究	准教授 佐伯 徹郎
	生物の遺伝子発現機構に基づく人工遺伝子回路の数理解析とモデル化および制御に関する研究	准教授 杉井 学 (国際総合科学部)
	聴覚メディアに関する現象の解析・理解・再現および工学的応用に関する研究	准教授 爲末 隆弘 (メディア基盤センター)
	医用画像を用いたコンピュータ支援診断、人体内部構造の解析、シミュレーション、および多角的な医療情報に基づく医用情報アプリケーションの開発などに関する教育と研究	准教授 平野 靖
	パターン認識及び画像処理の基礎と応用に関する教育と研究	准教授 藤田 悠介
	機械学習を用いた知的情報処理モデルの構築と大規模データ分析等への応用に関する研究	准教授 間普 真吾
	ビジュアルコンピューティングに関する教育と研究、さらに汎用グラフィックハードウェアを用いた画像処理手法の並列実装技術およびパターン認識技術に関する教育研究	准教授 水上 嘉樹
人の視覚を計算機で実現するコンピュータビジョンに関する研究	准教授 守田 了	
情報システム工学コース	工学をはじめ自然界、社会などにおける種々の現象、システムなどのモデル化とシミュレーション解析・制御に関する教育と研究	教授 石川 昌明
	社会基盤を対象とした情報システムの構築とメタヒューリスティックによる最適化手法の工学的応用に関する教育と研究	教授 中村 秀明
	代数的符号系列と高効率・高信頼無線通信方式への応用、および高度移動体間無線ネットワークの構築に関する教育と研究	教授 松藤 信哉
	ソフトウェア工学、システム工学などに関する教育研究	教授 山口 真悟
	計算機構の理論的解析と効率的なアルゴリズム構成に関する研究	准教授 伊藤 暁
	計算機構の理論的解析と効率的なアルゴリズム構成に関する研究	准教授 王 躍 (メディア基盤センター)
	社会基盤施設や工業製品の自動外観検査、診断、さらにライフサイクルマネジメントを行う知的システムの企画・設計・開発・実用化に関する教育と研究	准教授 河村 圭
	自然災害や人為災害に対する被害抑止、軽減手法の開発および危機管理・防災システムの設計に関する教育と研究	准教授 瀧本 浩一
	高信頼並列分散システムおよびネットワークに関する教育と研究	准教授 福士 将
電波及び光による広帯域無線通信システムとプログラマブルロジックデバイスによるその通信システムの開発に関する教育と研究	准教授 松元 隆博	

(博士前期課程)

農学系専攻 [Division of Agricultural Sciences]

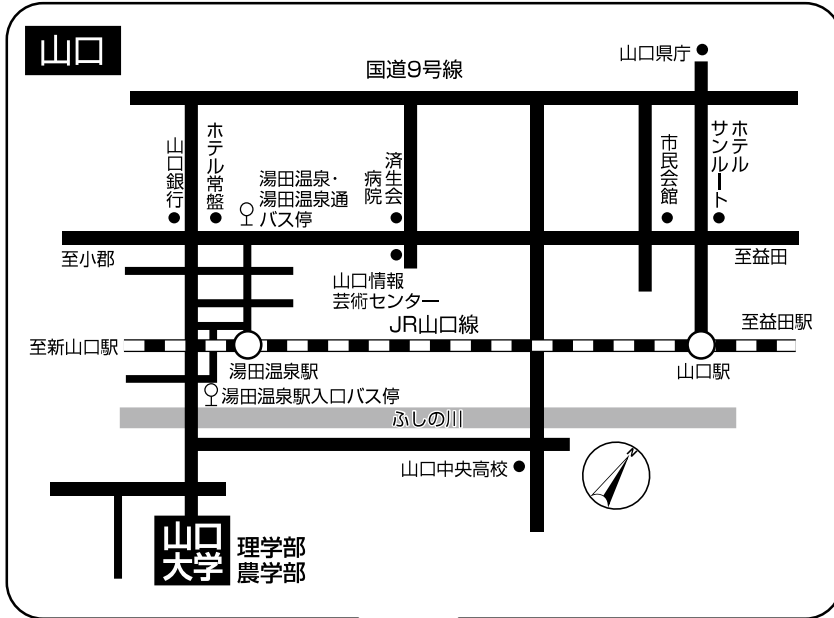
コース	研究内容	教員名
農学	植物・病原体相互作用の分子メカニズム 植物免疫を応用した病害防除技術	教授 伊藤 真一
	画像による植物生体情報解析 植物生産における光環境制御	教授 荊木 康臣
	ゲノム情報を応用した昆虫利用・管理技術開発に関する研究 昆虫機能を応用した物質生産に関する研究	教授 小林 淳
	植物工場における野菜の高効率生産と高付加価値化 地球温暖化に対応した新しい野菜品種の開発	教授 執行 正義
	作物の多収性・高品質性についての生理生態学的解析 高付加価値生産・持続的作物生産のための作物栽培体系の確立	教授 高橋 肇
	アジアにおけるシロアリの多様性維持に関する研究 シロアリの同胞認識機構に関する研究	教授 竹松 葉子
	植物の光害を回避する LED 屋外照明および植物工場における複合型環境制御技術の開発 気象災害の予測・防災技術の開発と地球温暖化・ヒートアイランド現象による都市・農生態系の気候変動解析	教授 山本 晴彦
	水欠乏、過湿、高温などの環境ストレスに対する植物の耐性機構に関する研究 環境ストレスを軽減する栽培管理に関する研究	准教授 荒木 英樹
	降水雲および降雪雲内の雲物理学的直接観測研究 降水・降雪現象と農業気象災害に関する研究	准教授 鈴木 賢士
	農畜産物の流通・加工・消費に関する研究 食品産業・企業経営に関する研究	准教授 種市 豊
	副産物石膏の農業的利用 下層土酸性の改良	准教授 藤間 充
	動物の生態と獣害防除に関する研究 地域個体群の遺伝的多様性	准教授 細井 栄嗣
	カンキツの自家不和合性に関する研究 果樹の自家不和合性の発現機構	助教 金 貞希
	畑地土壤中における土壌水移動の観測および数値解析、ならびに作物生産への応用 土壌構造と畑地の土壌水分状態の関係解明	助教 坂口 敦
	植物工場における植物の生理機能の評価とモデル化 未利用資源を活用した省エネルギー・低コストな栽培環境制御法の開発	助教 佐合 悠貴
	土壌伝染性植物病原菌の病原性因子に関する研究 植物病原菌の比較ゲノム解析	助教 佐々木一紀
未導入植物遺伝資源の形質調査と育種への応用 伝統的農業の記録および古代農業の実像解明	助教 丹野 研一	
微生物作用による土壌有機物（腐植物質）変遷過程・機構の解明 生物性に関与する土壌有機物の機能解明	助教 柳 由貴子	

(博士前期課程)

農学系専攻 [Division of Agricultural Sciences]

コース	研究内容	教員名
生命科学コース	生理活性物質（フェロモン、アレロケミカルなど）の探索および有機合成に関する研究 香りの発生メカニズムとその生理的役割に関する研究	教授 赤壁 善彦
	病原微生物の付着と定着のメカニズム 微生物間のコミュニケーションとその応用	教授 阿座上弘行
	タンパク質翻訳後修飾の解析とその応用 無細胞タンパク質合成系の開発とその応用	教授 内海 俊彦
	金属タンパク質の機能解析 反応機構に基づいた酵素機能の改変	教授 小崎 紳一
	植物が代謝によって獲得する生理生態学的環境適応戦略の解明 作物が作り出す機能性物質の代謝経路の解明とその応用研究	教授 松井 健二
	植物の抗酸化防御機構の研究と応用 食品中のアルデヒド解毒成分の探索、同定、応用	教授 真野 純一
	哺乳類神経筋システムの適応メカニズムに関する生理・生化学的研究 神経筋の加齢変化抑制のための運動刺激に関する研究	教授 宮田 浩文
	微生物における生存とプログラム死の分子生物学的研究とその応用 ゲノム情報に基づいた代謝改変と高温発酵への応用	教授 山田 守
	窒素循環に関わる微生物の分子生態学的研究 土壌伝染性植物病原菌の生態防除に関する研究	教授 横山 和平
	活性酸素の傷害性と有効性に関する研究 アンチエイジング（抗老化）食品成分の探索	准教授 井内 良仁
	植物プラスチドにおける同化系代謝間制御の解析 フェレドキシンとその依存タンパク質間の相互作用と電子伝達メカニズムの解析	准教授 木股 洋子
	環境浄化および物質生産に活用可能な微生物の探索 物質循環（特に炭素循環）に関わる微生物の生態解明	准教授 藤井 克彦
	微生物の代謝と酵素に関する研究 細胞膜で働く酵素複合体に関する研究	准教授 薬師 寿治
	微生物の発酵生理学と代謝工学 微生物を用いた有用物質生産	助教 片岡 尚也
	微生物の耐熱性機構に関する研究 微生物共生における共生機構及び代謝制御に関する研究	助教 高坂 智之
植物香気成分の生成機構の解明 植物内在性基質を利用した代謝工学による有用物質の生産	助教 肥塚 崇男	

交通のご案内 ACCESS MAP

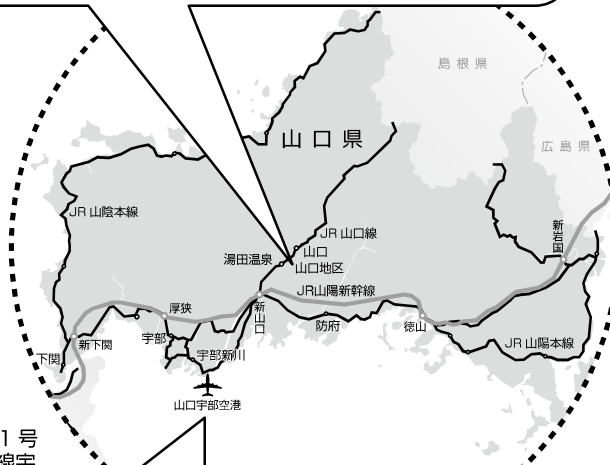


山口地区

理学部・農学部

吉田キャンパス/
山口市吉田 1677-1

- JR 山陽本線新山口駅から JR 山口線「湯田温泉駅」下車。
JR 湯田温泉駅入口バス停から JR バス山口大学行「山口大学」下車。
- JR 新山口駅発 JR バス「東萩」行「湯田温泉通」下車、又は防長バス「道の駅仁保の郷」行、「県庁前」行、「宮野温泉」行、又は「スポーツの森」行「湯田温泉」下車。JR バス「山口大学」行に乗り換え「山口大学」下車、又は防長バス「新山口駅」行（権現堂橋経由）又は「リハビリ病院」行に乗り換え「山口大学前」下車。（徒歩の場合、湯田温泉バス停から約 35 分、JR 湯田温泉駅から約 25 分）
- JR 新山口駅から車で約 30 分



宇部地区

工学部

常盤キャンパス/
宇部市常盤台 2 丁目16番 1 号

- JR 新山口駅又は JR 山陽本線宇部駅から JR 宇部線「宇部新川駅」又は「琴芝駅」下車。
駅前バス停から開線・ひらき台方面（琴芝経由又は参宮通経由）、めぐりな（東部市内循環線）又は萩原循環線の市営バス「工学部前」下車。徒歩約 3 分。
※めぐりな（東部市内循環線）は琴芝駅を経由しないので注意してください。
- 山口宇部空港から車で約 10 分。

